令和２年度（2020 年度）～令和４年度（2022 年度）

愛知県一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会 実施報告書

令和５年（2023 年）３月 31 日

愛知県一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会
委員長　内藤 章江（お茶の水女子大学）

目次

はじめに 3

1. プロジェクト委員会　設置背景 4
1-1. 一宮市長からの諮問 4
1-2. 中学校制服の現状 4
1-3. 令和の時代にふさわしい制服　生徒・保護者アンケート調査 5
1-4. 令和元年度　中学生いちのみや「夢サミット」の開催 24

2. プロジェクト委員会　発足と役割 29
2-1. 「みんなの制服プロジェクト」委員構成 29
2-2. 委員会の役割 31
2-3. プロジェクトスケジュール 32

3. プロジェクト委員会の取組 33
3-1. 令和 2 年度（2020 年 4 月～2021 年 3 月） 33
3-2. 令和 3 年度（2021 年 4 月～2022 年 3 月） 38
3-3. 令和 4 年度（2022 年 4 月～2023 年 3 月） 41

4. 成果の発信と今後の展望 52

おわりに 54

謝辞 55

参考文献 55

付録 56

はじめに

新たな時代にふさわしい中学校制服へ　一宮市の想い

一宮市では、約７０年間にわたり公立中学校の制服として詰襟学生服とセーラー服を採用してきました。
時代は令和となり、この制服をこれからの新時代を担う生徒たちが着用するにふさわしく、愛着と誇りを共感しつつその想いを未来へつなげるために、一宮市の中学生が着用する制服についての協議をスタートさせました。

中学生が着用する制服を検討するにあたり、一宮市では次の３つの視点を大切にしてきました。

1.　表現手段としての制服

服装は自己表現の一つの手段であり、着装方法によって表現される内容や評価は変化します。
制服は生徒一人一人を表現し、所属する中学校全体の印象を表現し、ひいては一宮市全体の印象も表現します。制服のデザインや着用方法により、何が表現されるのかを生徒たちが考え、学べる制服を検討することが大切です。

2.　シビックプライド（地域の良さ、繊維産業）としての制服

一宮市の特徴的の一つである繊維産業は、市町村単位としては全国２位の誇り高き産業です。
これらの地場産業や地元の良さを感じ、中学校生活の思い出と街に対する誇りを創り出す制服を検討することが大切です。

3.　保護者の負担に配慮した制服

制服を着用するのは生徒たちですが、その制服を購入・管理するのは保護者です。３年間の中学校生活を快適に過ごすための制服として適正な価格となるよう、また、容易に管理（破れにくい、繰り返しの洗濯が可能、など）できる制服を検討することが大切です。

この３つの視点を一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会に伝え、市内の小中学生、教師、保護者の「みんな」で制服について検討いただきました。そして、サポートメーカーの協力も得て、その検討結果を「みんなの想い」として市に届けてくれました。

2022 年春、全国初の取組となる「みんな」で決めた、「みんな」の想いがこもった「新制服」が一宮市の街の風景の一つに加わります。生徒たちには、この制服を通じて様々なことを感じてもらいつつ、胸を張って着てもらいたいと思います。

一宮市長　中野　正康

1. プロジェクト委員会　設置背景

1-1. 一宮市長からの諮問

令和の時代になり、一宮市は中核市への移行を進めていること、ここ数年来の環境変化が大きくなっていることをふまえ、令和元年（2019 年）8 月 26 日（月）の定例市長記者会見において中野正康市長より「新しい時代に向けた一宮市中学生制服のあり方を協議する」旨の諮問 [1] がなされた。協議事項は以下の通りである。

- 表現手段の一つとしての服育※(衣育)の充実　※時と場に応じた服装など
- 「シビックプライド」（地域の特色である繊維産業）を子どもたちに伝える
- 保護者の負担への配慮

これらの協議事項は、「新しい時代に向けた、一宮市中学生制服のあり方」として令和元年（2019 年）9 月 26 日(木)に開催された令和元年度第 1 回総合教育会議 [2] において協議がなされた。この協議を経て、まずは全国の中学生における制服着用状況（着用率、着たい制服のタイプ）の確認と今後の一宮市における中学校制服のあり方に関する調査を行うことになった。

1-2. 中学校制服の現状

中学・高校生の制服・体操服に関する意識調査の結果 [3] から平成 30 年度における全国の中学生の学校制服着用状況を見ると、男子ではつめえり学生服 76%、ブレザー22%であり、女子ではセーラー服 50%、ブレザーは 26%であった。一方、着たい制服のタイプは、男子ではつめえり学生服が 53%であるのに対してブレザーが 41%、女子ではセーラー服が 28%であるのに対してブレザーは 55%であった。男女ともに現在着用されている制服はつめえり学生服とセーラー服の方が多いものの、着用したい制服はブレザータイプの方が多く、現在着用されている制服とは異なるタイプを着用したいと考えている様子がうかがえる。

令和元年度第 1 回総合教育会議 [2] において一宮市立中学校の学校制服着用状況について報告がなされた。会議録によると、一宮市立中学校の男子は黒の詰襟学生服にスラックス、女子は 1 校を除いて三本線の紺のセーラー服を着用していること、7 月に入ると体操服で通学・学校生活を送ることを可としている中学校が 18 校あり、体操服を活用しながら自分で考えて体温調整をしている状況が報告されている。また、スカートの着用を嫌がる女子生徒、著しい成長に伴い同じ制服を 3 年間着用できない生徒、場面にふさわしくない服装をする生徒がいる、制服代が負担になる家庭があるなど、学校制服にまつわる問題が複数話題に上っており、今後慎重かつ詳細な調査の必要性が示された。さらに、学校教育における服育の状況とシビックプライドに関する報告もなされた。

これらの詳細については、令和元年度第 1 回総合教育会議の会議録 [2] を参照されたい。

1-3. 令和の時代にふさわしい制服　生徒・保護者アンケート調査

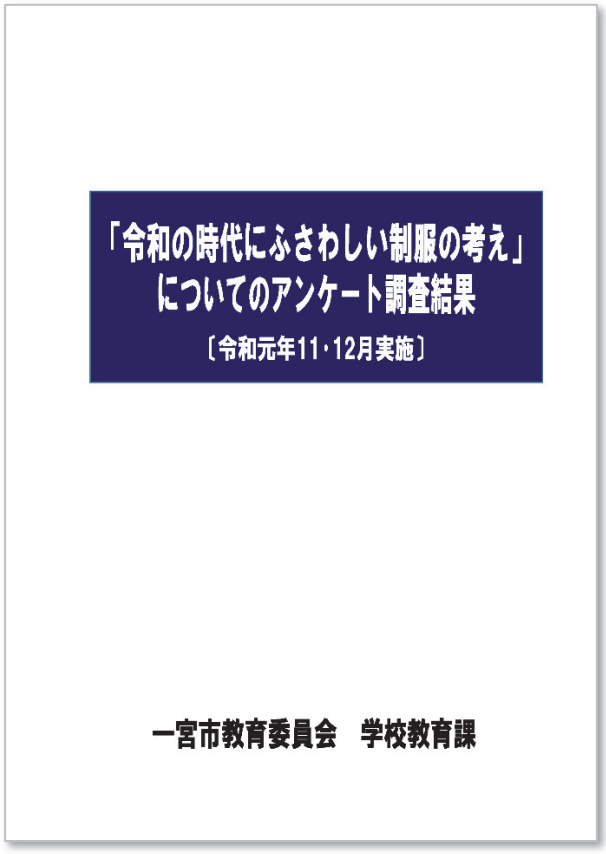
令和という新しい時代となった機会に、中学生の制服について生徒・保護者の意見を聞き、今後の制服のあり方について考えていくためのアンケートを一宮市教育委員会 学校教育課が実施した。結果概要を以下に示す。なお、参考までに次ページより上記報告書[4)]の内容を転載するので参照されたい。

【結果概要】

・中学 1・2 年生（2,686 名）は「令和の時代にふさわしい制服」としてブレザー（80.6%）を挙げる人が多く、次いで詰襟（62.1%）、セーラー服（59.3%）となった。下衣はスラックス・ズボン・パンツ（76.7%）を挙げる人が多く、スカート（67。0％）、キュロット（54.6%）の回答を上回った。

・保護者（2,485 名）は「他の県や市町村では新制服としてブレザーやスカート、スラックス、キュロット等を採用し、生徒が選択している学校があります。一宮市も採用した方が良いと思いますか。」の質問に対して 45.4%が肯定的（とても思う、思う、の回答割合の合計）な回答を示した。

・保護者（2,485 名）が制服において最も重視すべきと挙げた項目は清潔感（32.6%）であり、次いで着心地（28.1%）、寒暖対応（15.4%）であった。



「令和の時代にふさわしい制服の考え」についてのアンケート調査結果　報告書

アンケートのねらい

令和という新しい時代となった機会に、中学生の制服について、生徒・保護者の意見を聞き、今後の制服のあり方について考えていくためにアンケートを実施する。

一宮市の公立中学校の現状

・詰襟やセーラー服を制服としてきている。
・最近は、気候の変化が激しくなっており、学校によっては夏服と冬服の移行期間を長くして、気候に合わせた対応をしている。
・制服以外のものとして、肌着や靴下、靴の色については校則がある。
（肌着は華美ではない色、靴下や靴の色は白色など）
・カーディガンやタイツの着用を認めている学校は少ない。

アンケートの対象

市内１９中学校の１・２年生徒及び保護者
※各校に対して、生徒数の約３分の１の生徒及び保護者に調査依頼

アンケートの実施方法

学校を通じてアンケート調査票の配付・回収

アンケートの時期

令和元年１１月２８日（木）～１２月１２日（木）

アンケート回収数

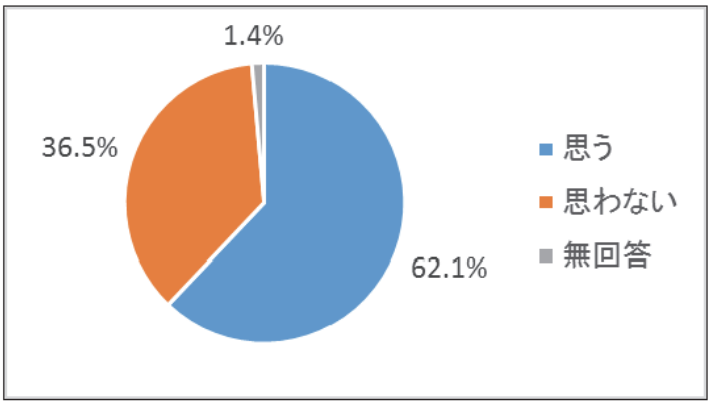
生　徒　２６８６（1年生１３７１、２年生１３１５）
保護者　２４８５（1年生１２３９、２年生１２４６）

生徒アンケート調査結果

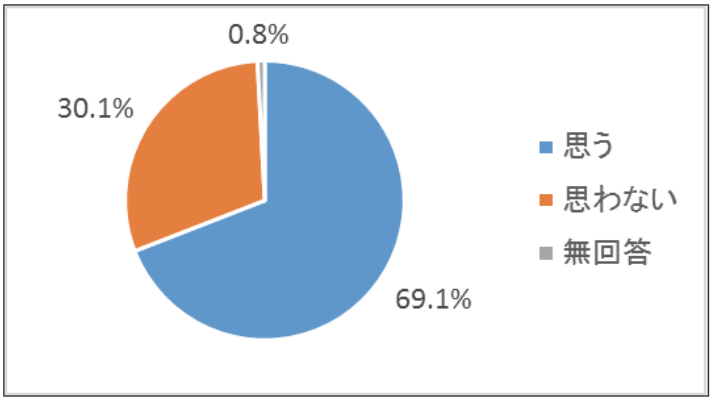
設問：次にあげるものは、令和の時代の制服としてふさわしいと思いますか。

① つめえり学生服

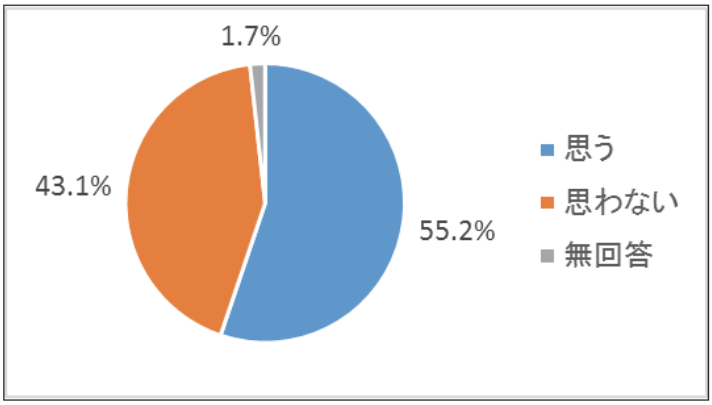
【生徒全体】



【男子生徒】

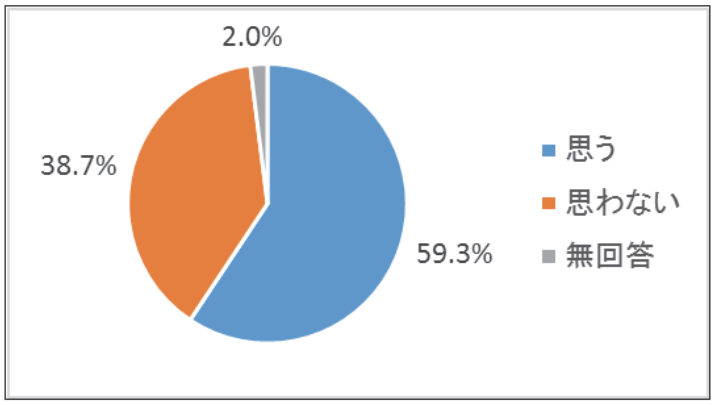


【女子生徒】

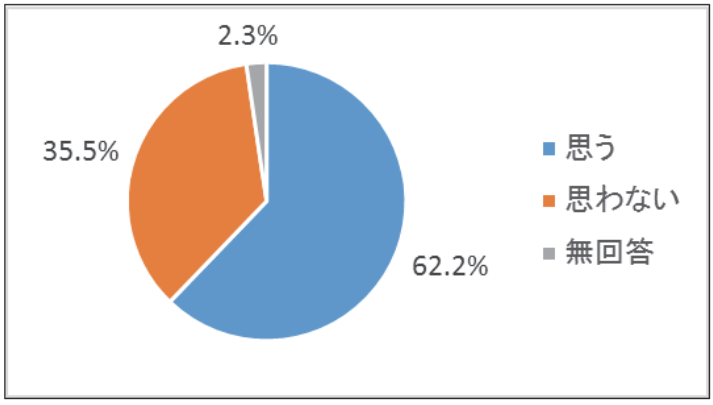


② セーラー服

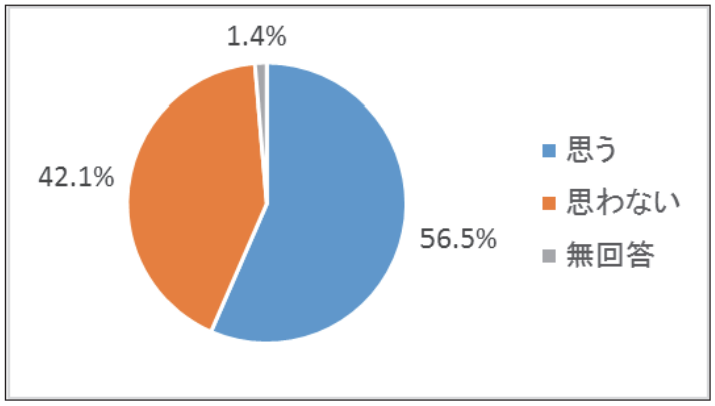
【生徒全体】



【男子生徒】

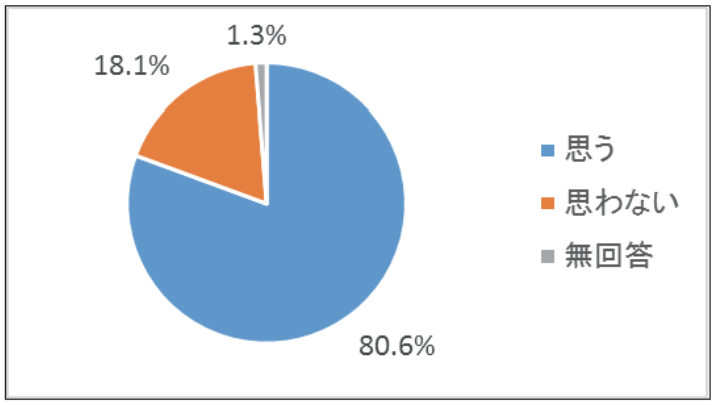


【女子生徒】

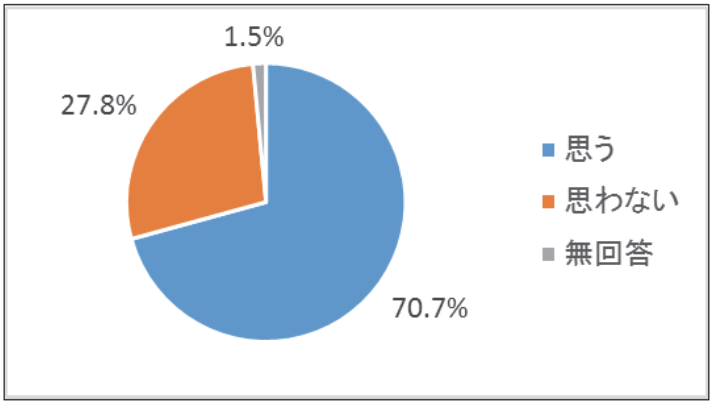


③　ブレザー

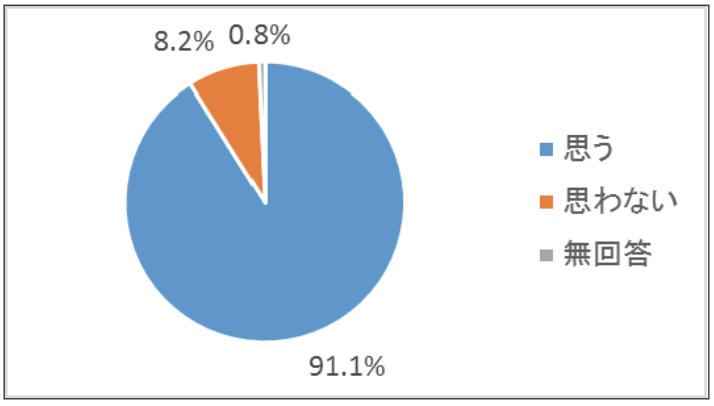
【生徒全体】



【男子生徒】

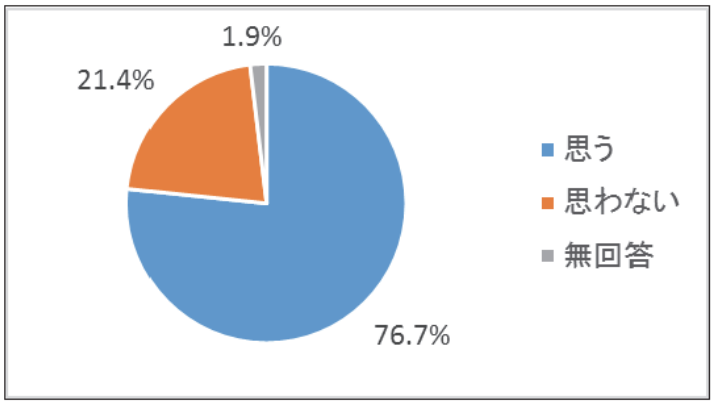


【女子生徒】

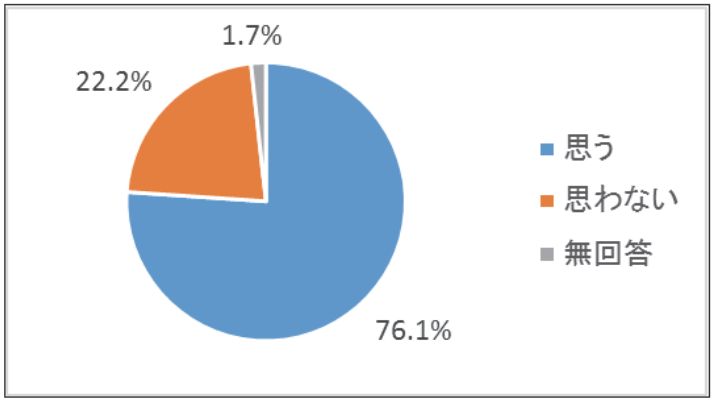


④　ズボン・パンツ・スラックス

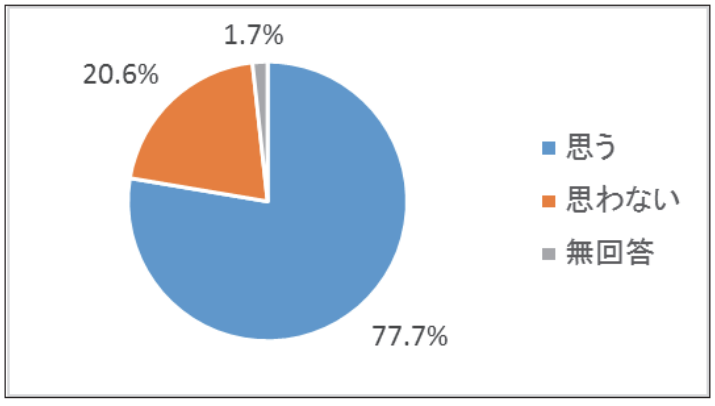
【生徒全体】



【男子生徒】

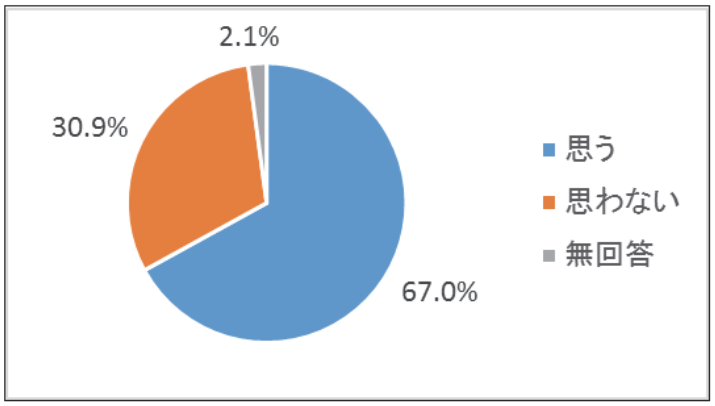


【女子生徒】

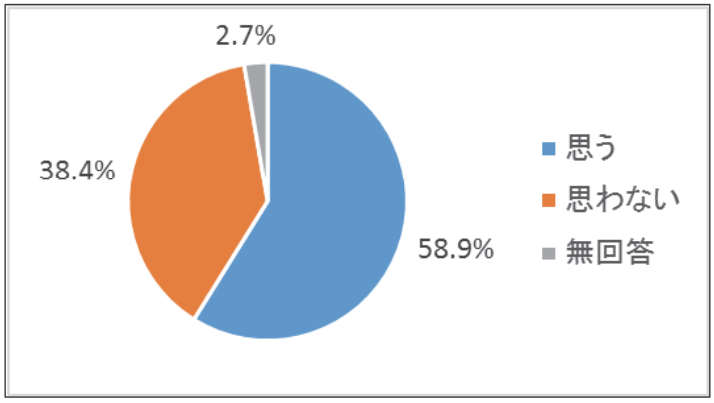


⑤　スカート

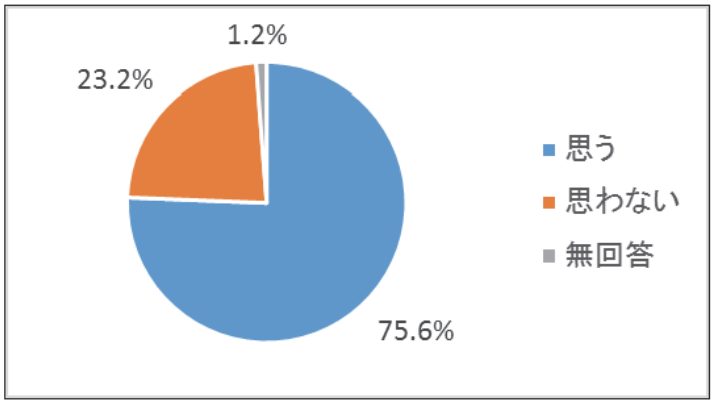
【生徒全体】



【男子生徒】

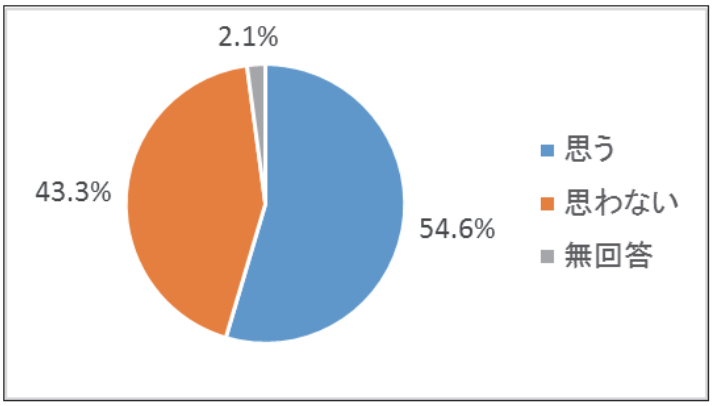


【女子生徒】

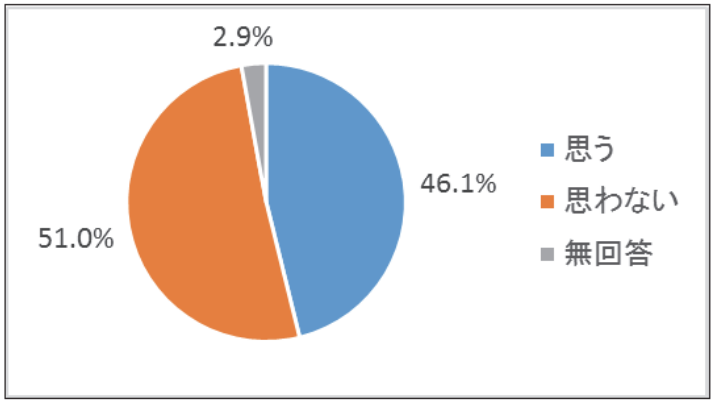


⑥ キュロット

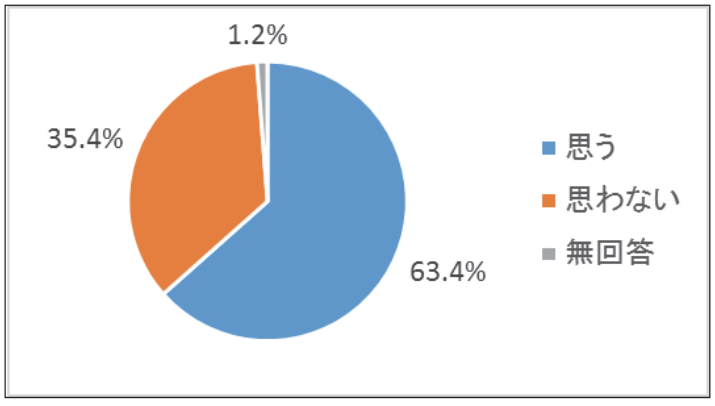
【生徒全体】



【男子生徒】

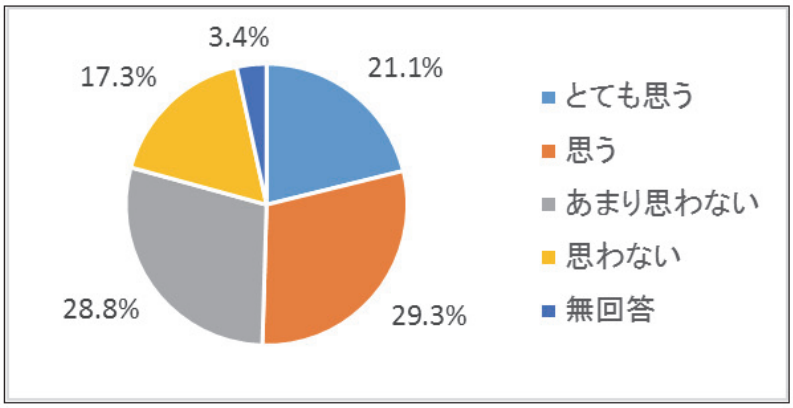


【女子生徒】

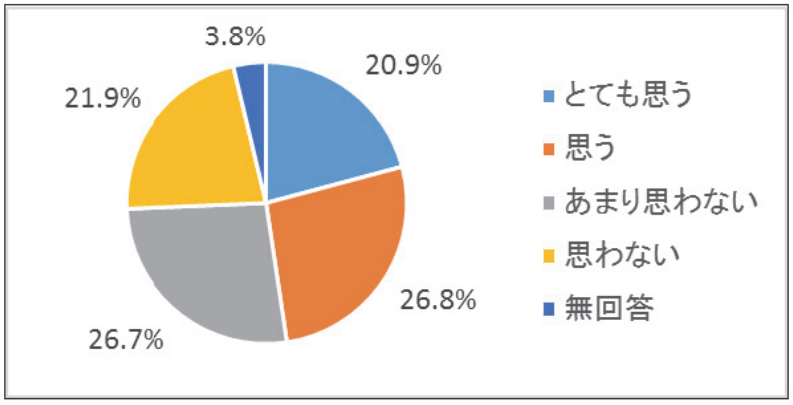


設問：一宮市のオリジナルな制服（地域の産業を生かした制服や独自の柄など）が着たいと思いますか。

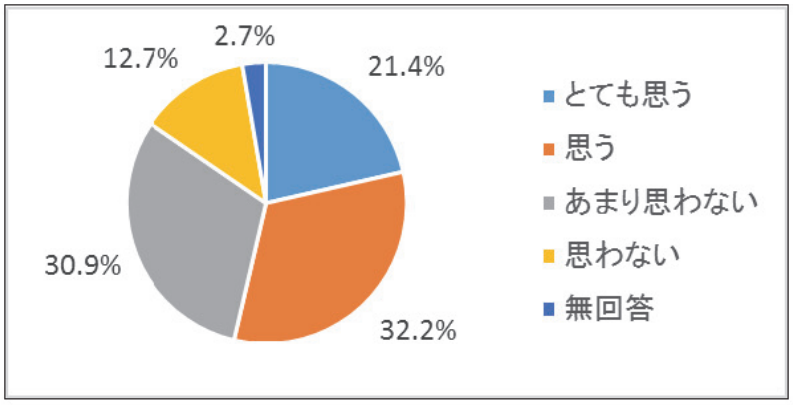
【生徒全体】



【男子生徒】



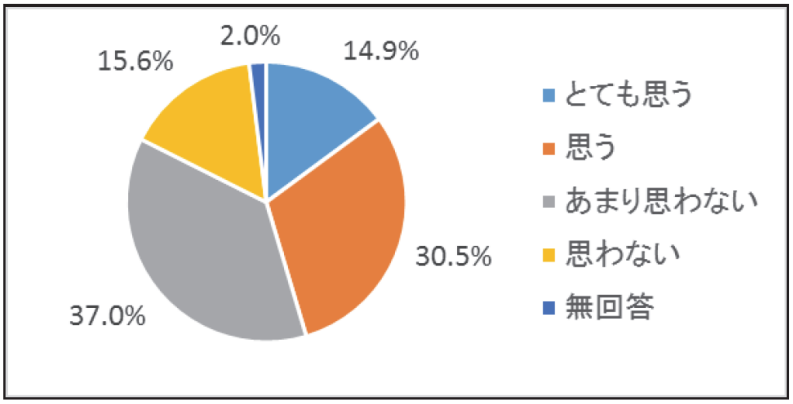
【女子生徒】



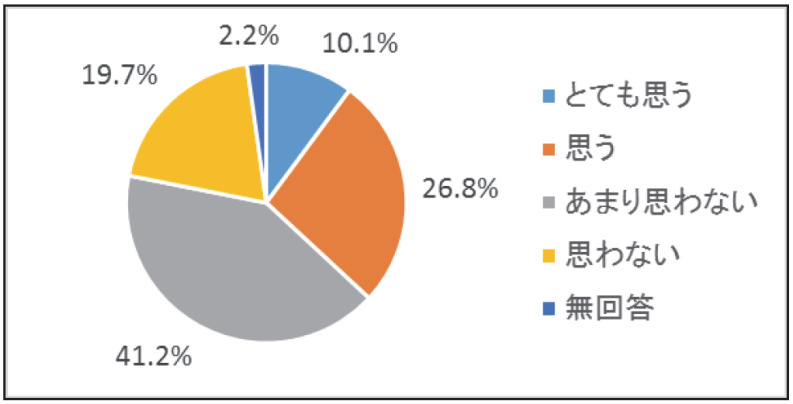
保護者アンケート調査結果

設問：他の県や市町村では新制服としてブレザーやスカート、スラックス、キュロット等を採用し、生徒が選択している学校があります。一宮市も採用した方が良いと思いますか。

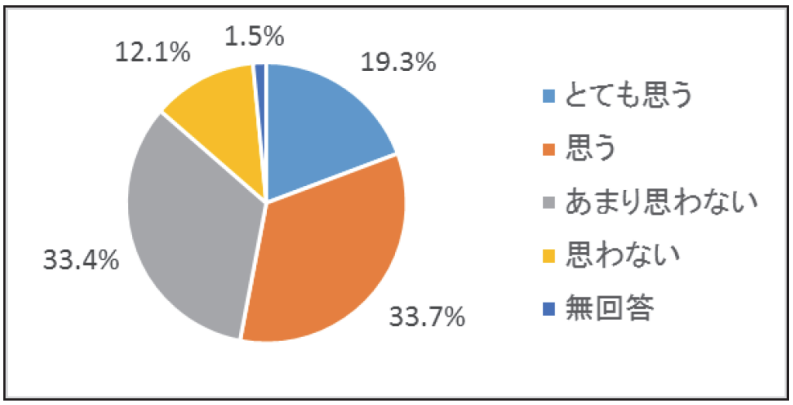
【保護者全体】



【男子保護者】



【女子保護者】

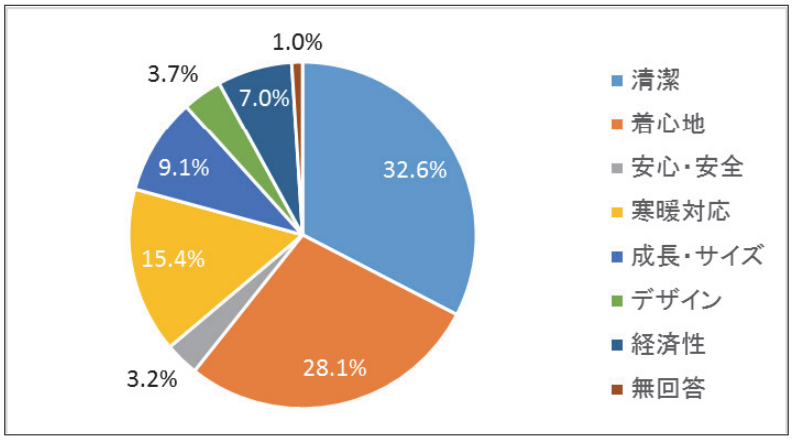


設問：「制服」はどのようなことを重要視すべきだと思いますか。

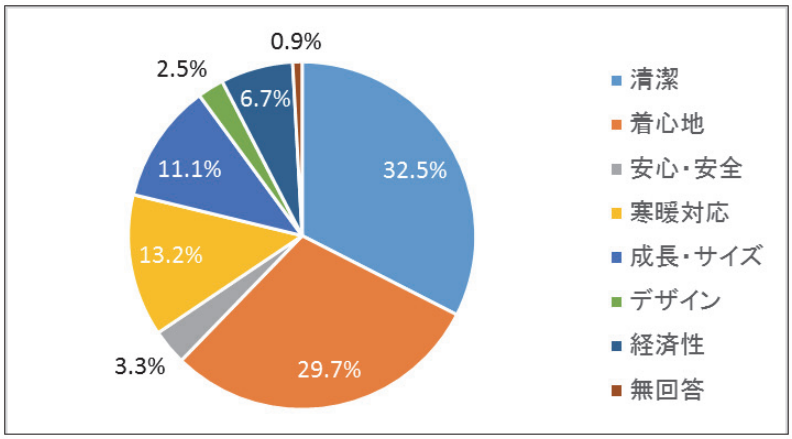
① 最も重要視～３番目に重要視のトータル

※最も重要…３ポイント、次に重要視…２ポイント、３番目に重要視…１ポイントとして合計を計算

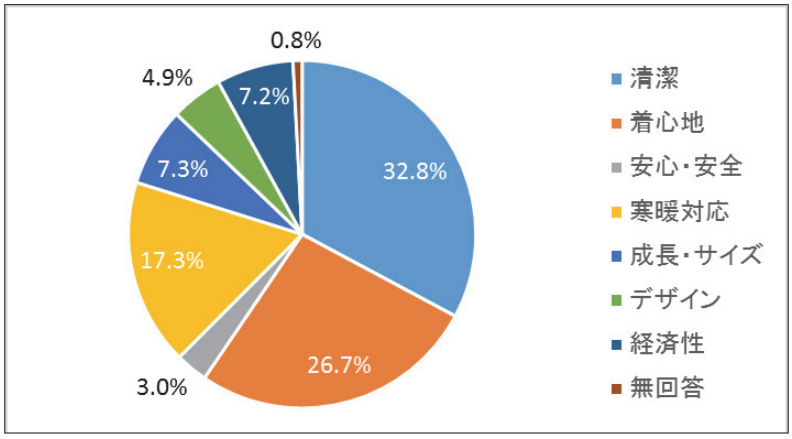
【保護者全体】



【男子保護者】

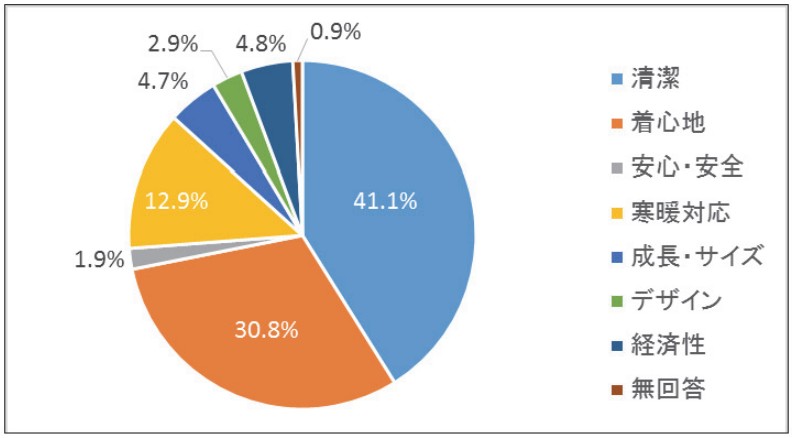


【女子保護者】

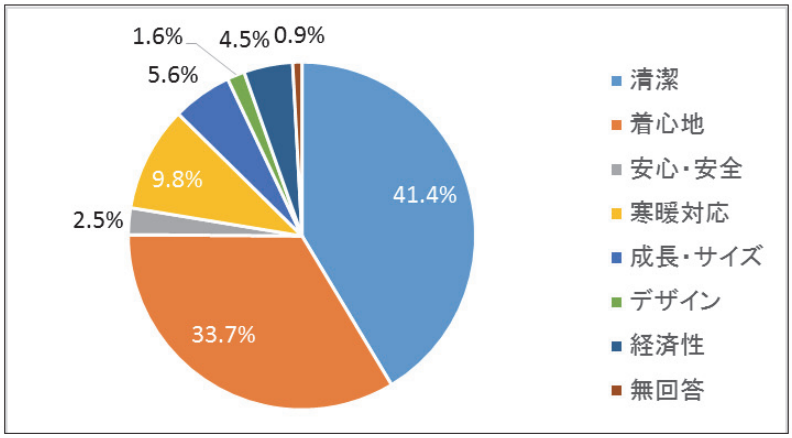


② 最も重要視

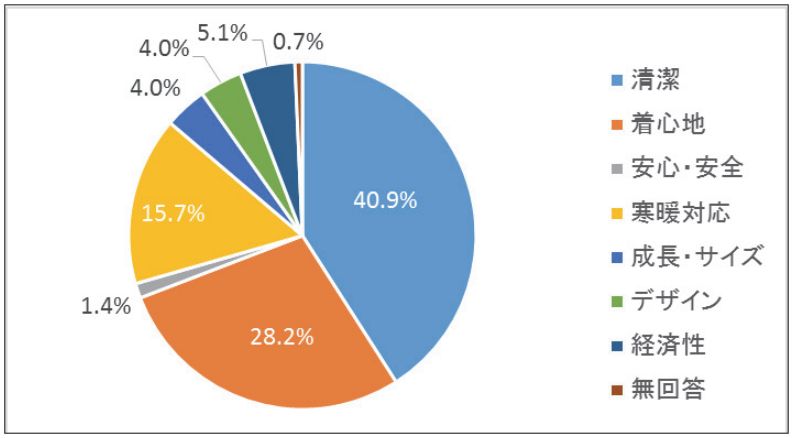
【保護者全体】



【男子保護者】

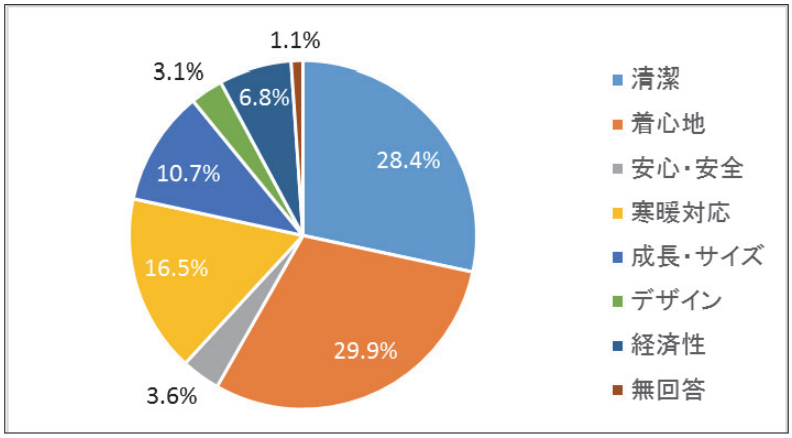


【女子保護者】

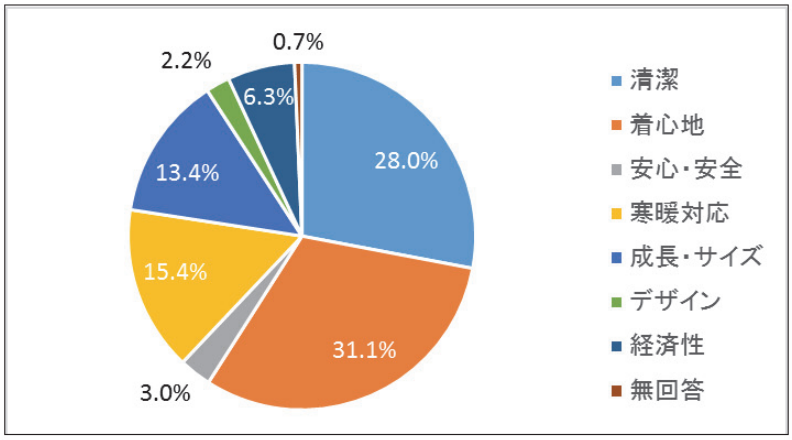


③　次に重要視

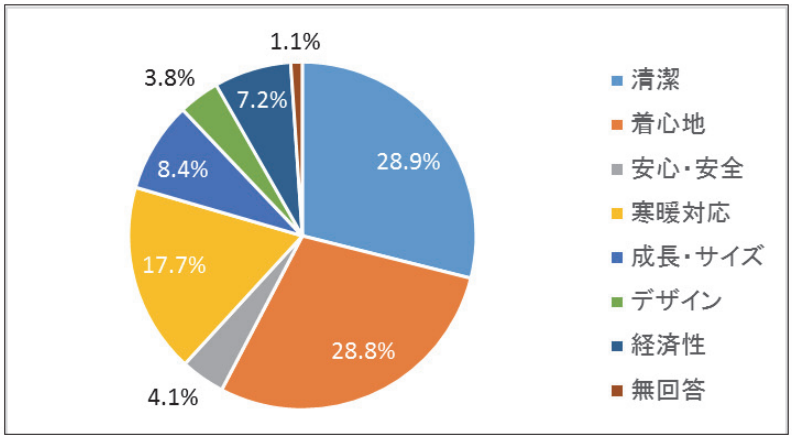
【保護者全体】



【男子保護者】

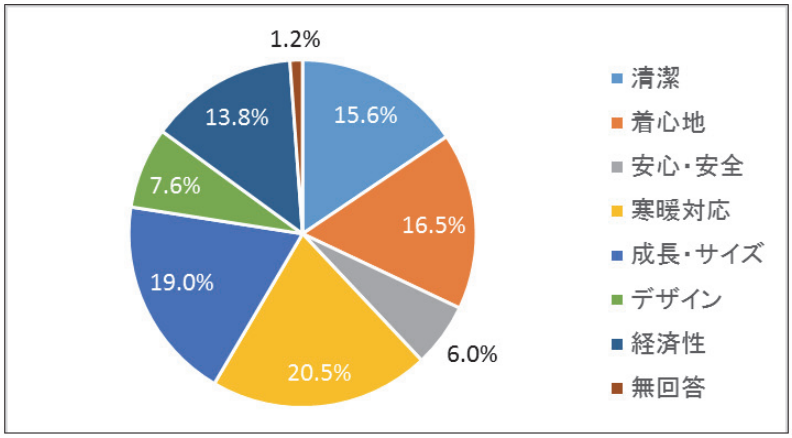


【女子保護者】

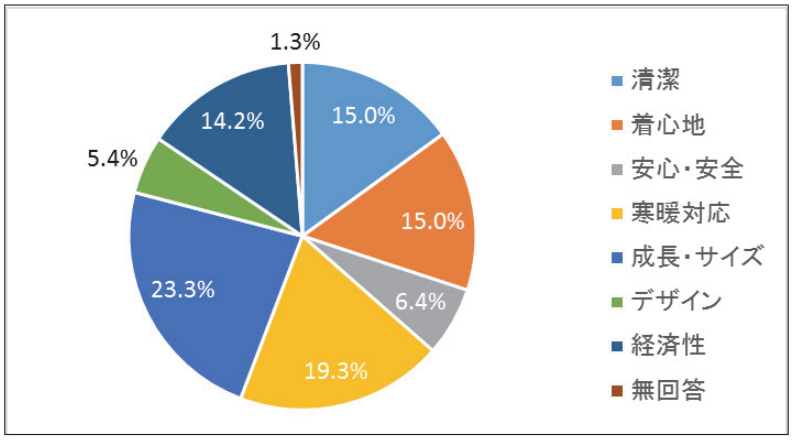


④　３番目に重要視

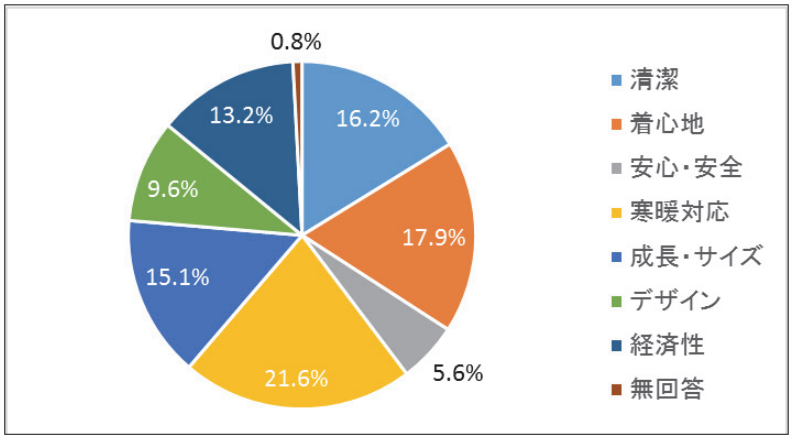
【保護者全体】



【男子保護者】



【女子保護者】



設問：その他に重要視すべきことはありますか。【記述式】

・ノーアイロン、アイロンがかけやすい

・しわになりにくい

・丈夫さ

・乾きやすさ

・防臭

・脱ぎ着のしやすさ

・色（夏服は透けない、黄ばみ等目立たない）

・夏服は汗をよく吸う

・フォーマルさ

・ＬＧＢＴ対応（性別に左右されない等）

・選択できるバリエーションの多さ

・重さ

・高校でも着ることできる

・リサイクルできる

・伝統、歴史、流行や風潮に左右されない

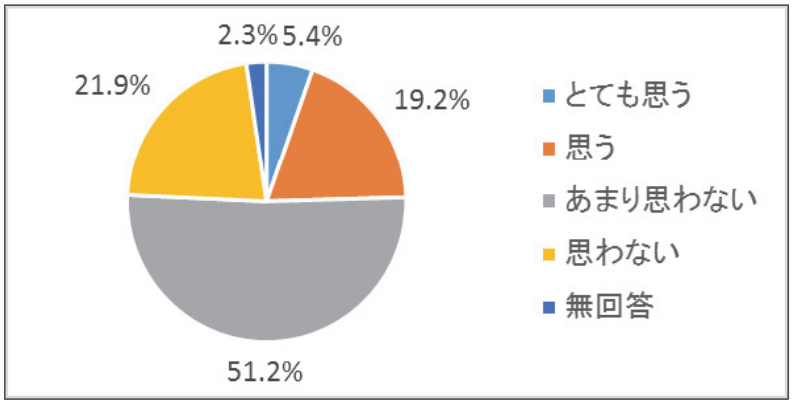
・だれがみても制服だと認識できる

・家庭の負担にならない

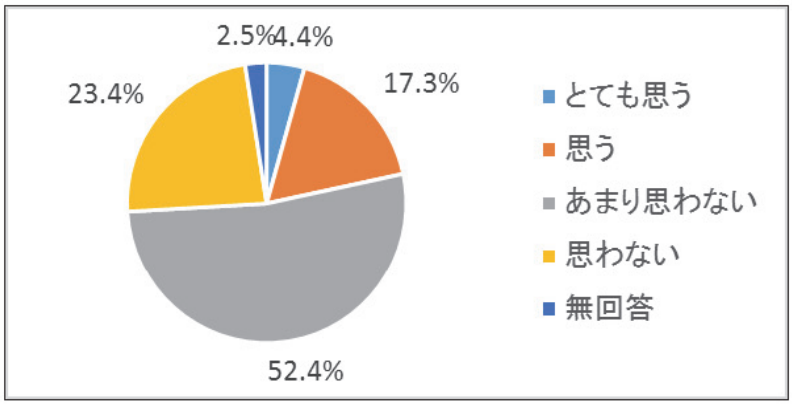
・付属品が増えない

設問：一宮市の特色や学校の独自性を生かした制服があると良いと思いますか。

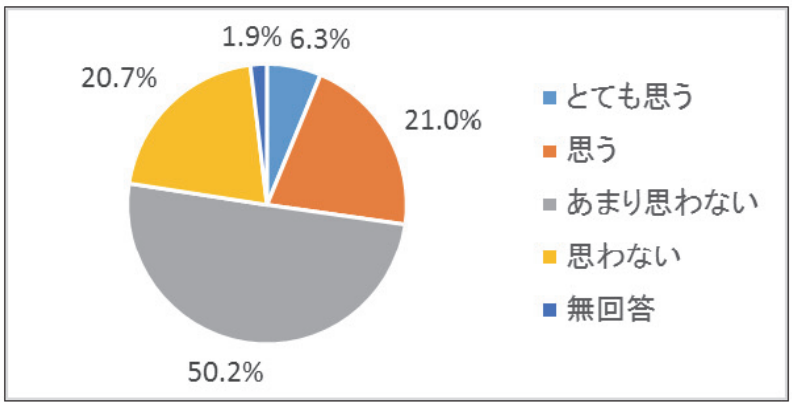
【保護者全体】



【男子保護者】



【女子保護者】



設問：「制服」について、設問以外で期待することを自由にお書きください。【記述式】

・夏服をポロシャツにしてほしい。
・冬服にセーターかベストがあると良い
・合服があると良い。
・中学校の制服が変更するなら、それに合わせて高校も変更してほしい。
・リボンをスカーフにすると良い
・学校の独自性は必要ない。転校等で買い直すのは負担。市で統一してほしい。
・制服は変えず、気温に合わせて、体操服やジャージで対応してほしい
・靴や靴下の色の指定をなしにしてほしい
・タイツやスッパツ、レギンス、ストッキングの着用を認めてほしい
・カーディガンの着用を認めてほしい
・レインシューズの使用を許可してほしい。
・コートについては、軽いものや風を通さないものが安価であるので、自由にしてほしい。
・登下校時に、ウィンドブレーカーの着用を認めてほしい。
・長袖シャツにズボンといったスタイルでの登下校を認めてほしい。
・カバン、ナップサックは自由にしてほしい。
・制服を着る意味を子どもにしっかりと伝えてほしい
・中古の制服を譲り受けられるようなリサイクル・リユースのシステムができると良い。
・男女共用のデザインだと、性別の違う兄妹でも使えるので助かる
・学年ごとに色分けするのはやめてほしい。
・旧一宮の「市内の子は市内で育てる」＝中学校と公立高校の制服が同じという点に賛同しており、旧尾西市等の公立高校も制服が統一されると良い
・学校ごとに変えてしまうと、学校が特定できるので防犯上のリスクが高いと思う
・「いちみん」のマークを入れると良いのは。
・キュロットは自転車通学でも動きやすくて良い。
・学業や部活に集中できるように華美でなければ良い。
・一宮市の特色を生かして尾州の生地を採用してはどうか。
・新たな出費が伴わないようにしてほしい。
・校章の紛失を防ぐために刺繍で代用するのはどうか。
・セーラー服は毎日洗えないので、ブラウスやブレザーの方が清潔。
・学校指定、学用品、制服、体操服、その他購入が必要なもので、指定された１店舗のみでしか購入不可なのは不便。

【生徒用アンケート】

★マークのしかた

「令和の時代にふさわしい制服の考え」についてのアンケート【生徒用】

選択式の回答は、該当箇所のマーク○を塗りつぶしてご回答ください。
○：空白マーク　●：正しいぬりつぶし　⊘：不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。
この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

(1) あなたの学年・性別をお答えください。

○ 1年男子
○ 1年女子
○ 2年男子
○ 2年女子

(2) 次にあげるものは、令和の時代の制服としてふさわしいと思いますか。それぞれあてはまるものにマークをしてください。なお、この設問は、男女問わず、１～５のそれぞれについて、「思う」「思わない」を回答してください。※自分自身が「着るか、着ないか」「はくか、はかないか」ではありません。

		それぞれ、一つ選択して下さい。	
		思う	思わない
1	つめえり学生服	○	○
2	セーラー服	○	○
3	ブレザー	○	○
4	ズボン・パンツ・スラックス	○	○
5	スカート	○	○
6	キュロット	○	○

(3) 一宮市のオリジナルな制服（地域の産業を生かした制服や独自の柄などがある制服）が着たいと思いますか。あてはまるものにマークをしてください。

○ とても思う
○ 思う
○ あまり思わない
○ 思わない

1 / 1
令和元年11月

【保護者用アンケート】

★マークのしかた
悪い　良い

「令和の時代にふさわしい制服の考え」についてのアンケート【保護者用】

選択式の回答は、該当箇所のマークを塗りつぶしてご回答ください。
○: 空白マーク　●: 正しいぬりつぶし　⊘: 不十分なぬりつぶし
記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。
この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したりしないように注意してください。

(1) お子様の学年・性別について、あてはまるものにマークをしてください。なお、ご兄妹がいらっしゃる方は上のお子様にマークをしてください。
○ 1年男子　○ 1年女子　○ 2年男子　○ 2年女子

(2) 他の県や市町村では新制服としてブレザーやスカート、スラックス、キュロット等を採用し、生徒が選択している学校があります。一宮市も採用した方が良いと思いますか。
○ とても思う　○ 思う　○ あまり思わない　○ 思わない

(3) 「制服」はどのようなことを重要視すべきだと思いますか。下の選択肢ア～キの中から選び、マークしてください。

		どれか一つを選択して下さい。						
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
1	最も重要視すべきだと思うものを１つ選択し、マークしてください。	○	○	○	○	○	○	○
2	次に重要視すべきだと思うものを１つ選択し、マークしてください。	○	○	○	○	○	○	○
3	３番目に重要視すべきだと思うものを１つ選択し、マークしてください。	○	○	○	○	○	○	○

ア　清潔（洗濯できる・汚れにくい 等）
イ　着心地（動きやすい・風合いがよい 等）
ウ　安心・安全（反射材がついている・紫外線カット 等）
エ　寒暖対応（オールシーズン対応・合服が充実 等）
オ　成長・サイズ（袖や丈が伸ばせる・サイズバリエーションが豊富 等）
カ　デザイン（生徒に人気・フォーマル性が高い 等）
キ　経済性（現行の制服より安い 等）

(4) その他に重要視すべきことがありましたら、お書きください。※ない場合は未記入でお願いします。

(5) 一宮市の特色や学校の独自性を生かした制服があると良いと思いますか。あてはまるものにマークをしてください。
○ とても思う　○ 思う　○ あまり思わない　○ 思わない

(6) 「制服」について、設問以外で期待することを自由にお書きください。※ない場合は未記入でお願いします。

1 / 1
令和元年11月

1-4. 令和元年度　中学生いちのみや「夢サミット」の開催

一宮市では、これからの未来を担うリーダーとなる人材の育成をねらいに、市内の中学生が市長や市議会議長をはじめとする一宮市の各界で活躍する人々と一宮市の未来像について意見交換を行う中学生いちのみや「夢サミット」を開催している。令和元年度は「だいすき一宮 令和にふさわしい制服って どんな制服？ – みなが着たくなる、一宮にふさわしい制服ってどんな制服―」をテーマに意見交換を行った。詳細は以下の報告書（令和２年３月１日発行）[5)] を参照されたい。

【概要】

・令和２年（2019 年）１月 25 日（土）13 時 45 分より一宮市役所本庁舎 1401 室にて開催した。参加者は討議者として中学生 57 名（一宮市立中学校 19 校から各校 3 名）、教職員 41 名、保護者・一般 22 名、議員・教育委員 14 名、合計 134 名であった。

・前半「令和にふさわしい制服について考える」では、一宮市を取り巻く制服の状況の説明、令和にふさわしい制服のアンケートの結果報告を行い、そのうえでブレザーやズボン・スラックスの有意性、制服選択制のメリットについて討議した。

・後半は「一宮市にふさわしい制服について考える」をテーマに、生徒・保護者・教員が重要視する点について考え、一宮市オリジナルの重要さについて知り、令和にふさわしい一宮市の制服像の共有を行い、意見交換を行った。

令和元年度　中学生いちのみや「夢サミット」の様子

令和元年度　中学生いちのみや「夢サミット」開催報告

1　テーマ

だいすき一宮　令和にふさわしい制服って　どんな制服？

－「みなが着たくなる、一宮にふさわしい制服ってどんな制服」－

2　実施日・場所・参加者

〔日時〕１月２５日（土）１３：４５～１５：１５(９０分)

〔場所〕一宮市役所本庁舎　１４０１

〔参加者〕

◎討議者　・一宮市立中学校　１９校

中学校２年２名　１年生１名　各校３名×１９校　　合計５７名

・教職員　一宮市立中学校 19 校　　合計４１名

・保護者、一般　　合計２２名

・議員、教育委員　　合計１４名

計１３４名

◎スペシャルアドバイザー　　市長・副議長・教育長

◎アドバイザー

教育委員　　山田　豊子　氏

お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所

特任リサーチフェロー　内藤　章江（ないとう　あきえ）氏

◎コメンテーター　　一宮モーニング協議会　副会長　森　幹昇　氏

◎ファシリテーター　　中部大学　深谷　圭助教授

３　全体討議報告

（前半）　令和にふさわしい制服について考える

① 様々な制服のイメージを発表する

◎一宮市を取り巻く制服の状況の説明を聞き、詰襟、セーラー服など令和にふさわしい制服のアンケートについて結果を聞いた。

詰襟制服

生徒「ふさわしい（昭和からの伝統を受け継ぐ）」
「ふさわしくない（先生からホックの指導を受ける）」

「セーラー服」

生徒「ふさわしい（中学生らしい　中学生として自覚が持てる）」
「ふさわしくない（着脱がしづらい　リボンが不自由　暑さ対応がしづらい）」

② ブレザー、ズボン・スラックスの有意性ついて考える

◎ブレザー、ズボン・スラックス、キュロットなど令和にふさわしい制服のアンケートについて結果を聞いた。

「ブレザー」

生徒「ふさわしい（着脱がしやすい　おしゃれである）」

「ズボン・スラックス」

生徒「ふさわしい（スカートは体にまとわりつく　スカートは冬寒い　女子でもパンツがはきたい）」

③ 全国的な制服の状況について知る

◎全国的にはどんな割合で詰襟、セーラー服、ブレザーが選択されているか、中学生はどんな制服を望んでいるか聞いた。

生徒「女子の方がブレザーを着たい思いが強い」
「制服を選択できる学校があるとよい」

④ 生徒の考える選択制のメリットを知る

◎保護者のアンケート結果を聞き、自分たちで「選びたい」と思う理由について発表した。

生徒「選べれば経済的にも負担が少ない　個性が生きる」
「統一させたほうが見栄えが良い」
「自分にあった形を選べるのは良い」

⑤ 保護者の考える選択制のデメリット（経済的負担）を知る

◎生徒の「選びたい」という思いを受け、保護者や教員の考えを聞いた。

教員「学校では生徒指導の面でやりづらさがある」
教員「寒暖やトランスジェンダーに対応できるのがよい」
保護者「選択できたほうが保護者にとってもよいのでは　生徒側からもよい」
保護者「複数のパターンを購入するのは、負担が大きく、購入できない家庭もできるのでは」

（後半）　一宮市にふさわしい制服について考える

⑥ 生徒・保護者・教員が重要視する点について考える

◎令和にふさわしい一宮市の制服選びについて重要視する点を考え、理由を発表した。

清潔

生徒「汚れにくい素材が良い」「夏は汗をかく　汗じみが目立たないもの」

保護者「登下校時に大量の汗をかく　乾きやすく、汚れか落ちやすいもの」

着心地

生徒「一日の中で長く着ている服なので動きやすいもの」

保護者「伸縮性のあるもの」

安心・安全

生徒「夜、危険なので反射材のついたもの」

寒暖対応

生徒「着脱が素早くできるもの」「一宮市は酷暑なので涼しく着用できるもの」

「寒さに対応できる冬に暖かいもの」

保護者「夏の蒸し暑さに対応できるもの　制服の中に着るものも選択させたい」

デザイン

生徒「令和にふさわしいデザインを取り入れたい」

教員「制服なので統一感が大切」

成長・サイズ

生徒「成長期なので、すそやそでを伸ばせるもの」

経済性

生徒 「制服が購入しやすくなり、複数枚あると洗濯が助かる」

保護者「今よりも値段があがると負担がかかる」

「今と同じくらいの値段が良い」

「親だけでなく生徒も経済性を気にしている」

「繊維の街なので値段を下げることも可能では　市として補助があってもよい」

⑦ 一宮市オリジナルの重要さについて知り、令和にふさわしい一宮市の制服像を共有する

◎アンケートより、生徒・保護者の一宮市のオリジナルを取り入れた制服についての考えを発表した。

生徒「一宮市が大好きなので一宮市の気候にあった制服になると良い」

「転校すると他地区では着れなくなる」「思い出の制服になる」

「制服を誇りに思い、一宮市が好きになる」「自慢ができる」

保護者「一宮市の毛織物を使うと高級なのでは」「経済面で心配」

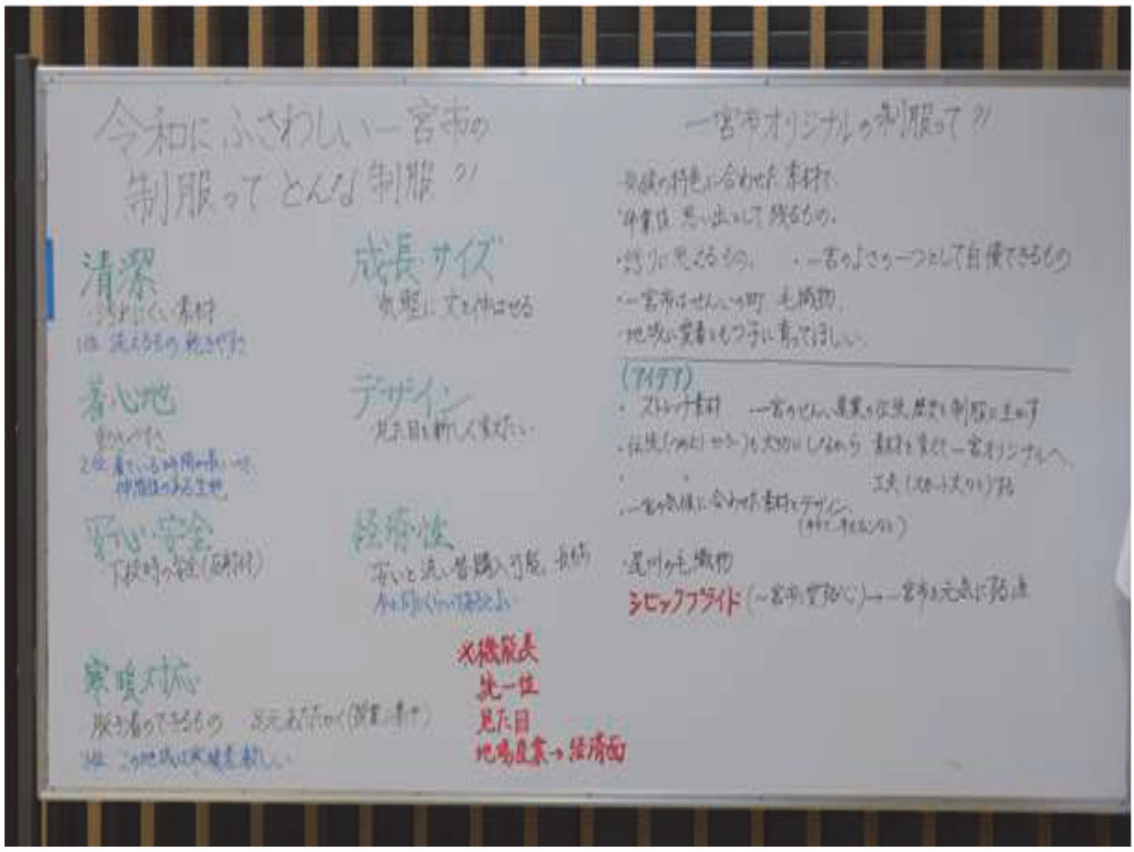
「一宮市に愛着が持ててよい」「一宮市を自慢できるものがあると良い」

◎一宮市にふさわしい制服のアイディアを発表した。

生徒「一宮市の歴史を生かした制服を」「尾州の生地が制服になると肌触りの良いものになるのでは」

「伝統を大切にした制服を」「ジャージ素材の制服を取り入れてはどうか」

４　ホワイトボード記録



５　アンケートより

・選択制により男女の枠を取り除くことは賛成である。コストの面の負担はしっかりと考えるべきである。
・尾州の生地を使用し、大量につくればコストも下げれるのではないか
・制服にはある程度統一性が必要である。ただし、性別で決められるのではなく、時期や体調で調整しやすい形状のものが良い。
・制服を選択することで経済的な格差がでてしまう。
・スカートやキュロット、スラックスなどそろえても、結局着るものは限られてしまうのではないか。
・一宮市に住んでいて、中学校の制服が公立の高校で使用できる高校が多い。親としては経済的である。
・令和にふさわしい制服という観点は唐突だと思う。そもそも制服というものがどうか。
・夢のある生徒の考えや思いが聞けて楽しかった。
・中学入学時に生徒が同じスタートでいられるように制服も平等であるべきだと思う。
・今年のような形式で行うと今後の時代に求められる発言力、表現力が育てられると思う。

2. プロジェクト委員会　発足と役割

2-1.「みんなの制服プロジェクト」委員構成

一宮市中学生の制服について協議するため、令和２年（2020 年）４月に一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会(以後、委員会と呼称)を設置した。設置要綱、委員構成は次の通りである。

一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会設置要綱

（設置）
第１条　一宮市中学生の制服について協議していくため、一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会を設置する。一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会（以下、「委員会」という。）を設置することに関し必要事項を定めるものとする。

（所掌事項）
第２条　委員会は、一宮市中学生の制服に関することについての検討、サポートメーカーの選考、仕様書の作成を行う。

（組織）
第３条　委員会は、次に揚げる者のうちから、教育委員会が委嘱する委員で組織する。
（１）学識経験者
（２）教育関係者
（３）学校代表
（４）その他、教育委員会が認めた者

（任期）
第４条　委員の任期は、４月１日から翌年の３月３１日までとする。ただし、委員に欠員が生じた場合の後継者の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）
第５条　委員会に委員長１名及び副委員長１名を置く。
２　委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。
３　委員長は、「みんなの制服プロジェクト」委員会の会務を総理する。
４　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）
第６条　委員会は、教育委員会が招集する。
２　委員会の会議は、委員長が議長となる。

（庶務）
第７条　委員会の庶務は、一宮市教育委員会教育文化部学校教育課において処理する。

（要綱の改正）
第８条　この要綱は、委員会の協議により改正することができる。

（その他）
第９条　この要綱に定めるもののほか必要な事項は別に定める。

付　則
この要綱は、令和２年４月１日から施行する。

「みんなの制服プロジェクト」設置要綱

令和２年度（2020 年度）　一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員

1	学識経験者	お茶の水女子大学 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ研究所 特任講師	内藤　章江
2	学識経験者	中部大学教授	深谷　圭助
3	教育関係者	愛知県臨床心理士会　理事・教育領域部会長	堀　英太郎
4	教育委員会が認めた者	あいち産業科学技術総合センター　尾張繊維技術センター長	大野　博
5	教育委員会が認めた者	一宮モーニング推進委員会　副委員長	森　幹昇
6	教育委員会が認めた者	元一宮市教育委員会教育委員	山田　豊子
7	保護者代表	平成31年度一宮小中学校ＰＴＡ連絡協議会　副会長	光樂　朋尚
8	保護者代表	平成31年度一宮小中学校ＰＴＡ連絡協議会　母親代表　副会長	岡本　美紀恵
9	高等学校教諭代表	尾中地区生徒指導連絡協議会　副会長（一宮西高等学校長）	北山　ゆり
10	中学校教諭代表	一宮市小中学校校長会　副会長（尾西第三中学校長）	服部　隆信
11	小学校教諭代表	一宮市小中学校校長会　副会長（萩原小学校長）	渡邊　彦尚

1	事務局	一宮市教育委員会　教育文化部長	野中　裕介
2	事務局	一宮市教育委員会　学校教育課長	春日井　一吉
3	事務局	一宮市教育委員会　学校教育課　指導主事	小川　貴史
4	事務局	一宮市教育委員会　学校教育課　指導主事	竹元　巨

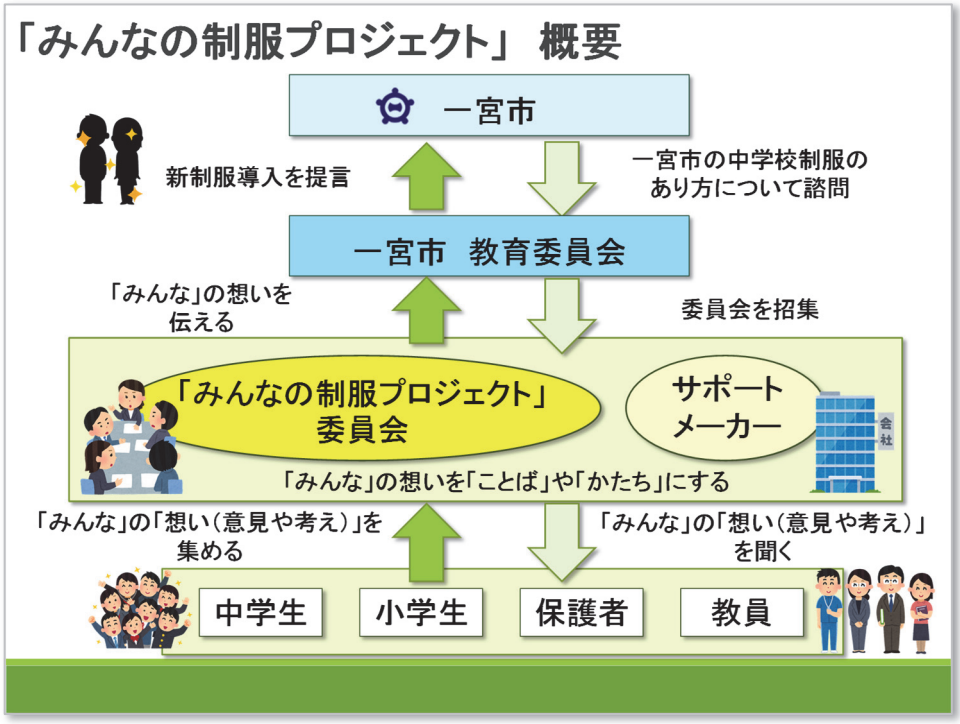
令和３年度（2021 年度）　一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員

1	学識経験者	お茶の水女子大学 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ研究所 特任講師	内藤　章江
2	学識経験者	中部大学教授	深谷　圭助
3	教育関係者	愛知県臨床心理士会　理事・教育領域部会長	堀　英太郎
4	教育委員会が認めた者	あいち産業科学技術総合センター　尾張繊維技術センター　主任	大野　博
5	教育委員会が認めた者	一宮モーニング推進委員会　副委員長	森　幹昇
6	教育委員会が認めた者	元一宮市教育委員会教育委員	山田　豊子
7	保護者代表	平成31年度一宮小中学校ＰＴＡ連絡協議会　副会長	光樂　朋尚
8	保護者代表	平成31年度一宮小中学校ＰＴＡ連絡協議会　母親代表　副会長	岡本　美紀恵
9	高等学校教諭代表	県立学校尾中地区校長会副会長（一宮興道高等学校長）	三浦　治夫
10	小学校教諭代表	一宮市小中学校校長会代表（神山小学校長）	前田　聡子
11	中学校教諭代表	一宮市小中学校校長会代表（南部中学校長）	春日井　一吉

1	事務局	一宮市教育委員会　教育部長	野中　裕介
2	事務局	一宮市教育委員会　教育部　次長	森　敬一
3	事務局	一宮市教育委員会　教育部　学校教育課長	櫻井　儀久
4	事務局	一宮市教育委員会　教育部　学校教育課　指導主事	小川　貴史
5	事務局	一宮市教育委員会　教育部　学校教育課　指導主事	竹元　巨

2-2. 委員会の役割

委員会は一宮市長の諮問を受けた一宮市教育委員会によって招集された組織であり、一宮市中学生の制服について協議することを目的とした組織である。委員会はサポートメーカー（本事業をともに考え、ともに創るサポーター）とともにアンケート調査やシンポジウムの開催等を通じて一宮市内の小学生、中学生、教員、保護者の制服に対する「想い（考えや意見）」に耳を傾け、集約して一宮市に提言・答申するための「ことば」にまとめ、それを「かたち」として示す役割を果たす。「みんなの制服プロジェクト」の概要を以下に図示する。



「みんなの制服プロジェクト」 概要

委員会は以下の通り、令和 2 年度（2020 年度）は 6 回、令和 3 年度（2021 年度）は 1 回開催した。各会議における会議録は付録 1 を参照されたい。

＜「みんなの制服プロジェクト」委員会　開催日程＞

・令和 2 年度　第 1 回委員会　令和 2 年 6 月 26 日　14 時 00 分～　（一宮市役所 1102 会議室）
・令和 2 年度　第 2 回委員会　令和 2 年 8 月 18 日　13 時 30 分～　（一宮市役所 1102 会議室）
・令和 2 年度　第 3 回委員会　令和 2 年 9 月 14 日　14 時 00 分～　（一宮市役所 901 会議室）
・令和 2 年度　第 4 回委員会　令和 2 年 12 月 2 日　14 時 00 分～　（一宮市役所 701 会議室）
・令和 2 年度　第 5 回委員会　令和 3 年 1 月 15 日　14 時 00 分～　（一宮市教育センター　第 1 研修室）
・令和 2 年度　第 6 回委員会　令和 3 年 3 月 12 日　14 時 00 分～　（一宮市教育センター　第 1 研修室）
・令和 3 年度　第 1 回委員会　令和 3 年 4 月 23 日　14 時 00 分～　（一宮市教育センター　第 1 研修室）

2-3. プロジェクトスケジュール

「みんなの制服プロジェクト」は委員会設置以前から関連する取組も含め、以下のスケジュールで進めた。

「みんなの制服プロジェクト」スケジュール（令和元年～令和２年）

令和元年	実施事項	内容
8月	8月定例記者会見：中野市長より3つの視点で検討を進めて欲しいと諮問	
9月	第一回総合教育会議	
11月	中旬：アンケート実施（生徒保護者意見収集）	
12月	下旬：アンケート回収	アンケート：19中学校の1,2年生2,686名、その保護者 2,485名

令和2年	みんなの制服プロジェクト	内容
1月	25日：中学生いちのみや夢サミット	右パネル参照
2月	21日：第二回総合教育会議	
6月	下旬：PTA役員意見集約（PTA意見収集） 下旬：第一回みんなの制服プロジェクト	賛成：　348(64.8%) 反対：　68(12.7%) その他：121(22.5%)
8月	18日：第二回みんなの制服プロジェクト サポートメーカー選考・決定（生徒意見収集） 20日：生徒アンケート実施	プレゼンテーションの結果、名古屋普公学生服に決定 アンケート：小4～中3アンケート11,788件回収
9月	14日：第三回みんなの制服プロジェクト 上旬：各中学校での校内検討委員会設置	シンポジウムに向けたプラン提出 （展示制服・展示方法など）
11月	14日：みんなの制服プロジェクト シンポジウム開催（生徒意見収集） 下旬：アンケート実施	右パネル参照
12月	2日：第四回みんなの制服プロジェクト	シンポジウム開催後、要望をまとめ5つのデザインを作成
令和3年 1月	15日：第五回みんなの制服プロジェクト 26日：中学生いちのみや夢サミット	右パネル参照
2月・3月	1月29日～3月26日サンプルの巡回・投票	右パネル参照
3月	12日：第六回みんなの制服プロジェクト 19日：第二回総合教育会議	最終デザイン決定
4月	12日：第六回みんなの制服プロジェクト 19日：第二回総合教育会議	
5月	13日：制服仕様書開示 下旬：各中学校へ採用可否を打診	仕様書説明会を開催、多くの製造業が参加
6～7月	学校毎の新制服採用が確定（各中学校への確認）	各学校毎に採用可否、着装を検討
8月	販売店がメーカーに製造依頼	
10月~12月	各販売店にて制服採寸開始	メーカー：製造～納品 販売店：採寸
令和4年 1～3月	採寸、制服お渡し	メーカー：製造～納品 販売店：採寸
4月	入学	

3. プロジェクト委員会の取組

「みんなの制服プロジェクト」委員会による令和 2 年度（2020 年度）～令和 4 年度（2022 年度）の取組内容を報告する。なお、委員会設置以前に実施した事業は 1. プロジェクト委員会　設置背景（p4～p28）を参照されたい。

3-1. 令和 2 年度（2020 年 4 月～2021 年 3 月）

令和 2 年度（2020 年度）の委員会の取組概要をまとめた図を以下に示す。

「みんなの制服プロジェクト」委員会　令和 2 年度（2020 年度）の取組 ①

「みんなの制服プロジェクト」委員会　令和 2 年度（2020 年度）の取組 ②

各取組の概要は以下の通りである。

- **委員会設置（4 月）**

  委員会を設置し、新制服の導入に向けたロードマップ作成、サポートメーカーの選考、生徒・保護者を対象としたアンケートの実施の検討が進められた。

- **PTA 役員の意見収集（7 月）**

  市内 61 小中学校の各校で「令和の時代にふさわしい中学生の制服」について、PTA 役員 537 名の意見集約を行った。ブレザーや女子のスラックスなどを新制服として導入することについてどう思うか、について質問した結果、「賛成」64.8%、「反対」12.7%、「その他（どちらでもない）」22.5%の回答を得た。詳細は付録 2 を参照されたい。

- **保護者の意見集約（8 月）**

  中学生の制服について、保護者 11,788 名の意見集約を行った。現行の制服と価格が変わらない場合、ブレザーを導入することについては、「賛成」39%、「移行期間を設けるならば賛成」32%、と条件付きも含め賛成意見が 7 割をしめた。また、現行の制服と価格が変わらない場合、下衣（スカート、スラックス、キュロットなど）は選択できるようにすることについては「賛成」78%、夏服をポロシャツにすることについては賛成 72%の回答を得た。詳細は付録 3 を参照されたい。

- **サポートメーカーの選考（8 月）**

  令和 2 年（2020 年）8 月 18 日（火）にサポートメーカー選考会を実施した。その結果、「名古屋菅公学生服（株）」をサポートメーカーとして採用した。サポートメーカーには、基本デザインやサンプルの提案など、本委員会の提案に従って制服のマスター版確定・作成および仕様書の作成・開示の協力を求めることとした。

- **生徒と教員の意見集約（9 月～10 月）**

  市内 19 中学校の各校において、生徒と教員に現行制服をもっと着たいと思えるものにするために「今の制服のここが良い」、「今の制服、ここが変わってほしい」の 2 側面から意見を集約するよう依頼した。集約した意見は令和 2 年（2020 年）11 月 14 日（土）に開催する「みんなの制服プロジェクト」シンポジウムにおいて発表するよう依頼した。

- **シンポジウム開催、新制服導入を市に提言（11 月）**

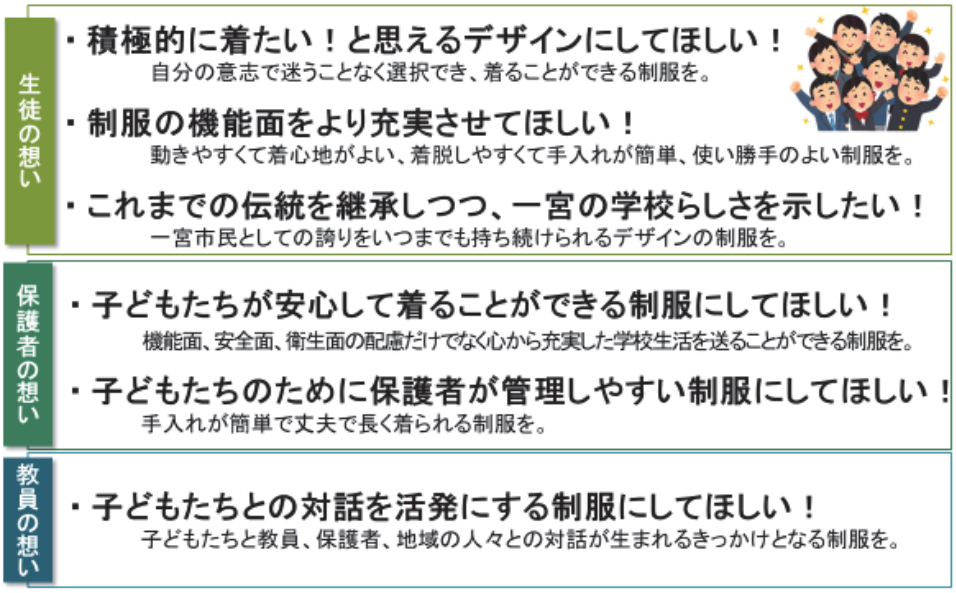
  令和 2 年（2020 年）11 月 14 日（土）に「みんなの制服プロジェクト」シンポジウムを開催した。市内全 19 中学校の代表生徒・保護者・教員、さらに小学生や制服販売店など合わせて 200 名近くの参加があった。シンポジウム前半はサポートメーカーによる制服の歴史や全国の制服導入の動きについて説明があり、それをふまえつつ全体協議として「現行の制服から変わってほしいこと」や「新制服を考える上で大切にしてほしいこと」を中心に話し合い、委員会が生徒・保護者・教員の新制服に対する「想い」を「ことば」にまとめ、市への提案文を作成した。提案文については参加者の拍手による承認を得たうえでシンポジウム終了後に市への提言を実施した。その結果、令和 4 年（2022 年）4 月の新制服導入を目指して「みんな」の「想い」を「かたち」にするための検討を開始することとなった。

シンポジウムの案内、当日の様子、提案文は次の通りである。

シンポジウムポスター（一般配信用）

シンポジウムポスター（学校配布用）

シンポジウム当日の様子



生徒・保護者・教員の新制服に対する「想い」を「ことば」にまとめた市への提案文

・**「一宮らしさ」に関するアンケート調査（12 月）**

一宮市内の小学 4 年生～6 年生、中学 1 年生～2 年生、計 11,154 名を対象に「一宮らしさ（一宮のよさ）」を一番よく表しているのはどれかを尋ねたところ、138 タワー（27.7%）が最も回答が多く、次いで一宮七夕まつり（24.1%）が挙げられた。詳細は付録 4 を参照されたい。

・**基本デザイン製作のための基本事項検討（12 月）**

これまでに行った小学生、中学生、教員、保護者を対象としたアンケート調査の結果や「みんな」の「想い」を「ことば」にまとめた市への提案文、「一宮らしさ（一宮のよさ）」に関する小中学生へのアンケート調査の結果をもとに、委員会に置いて基本デザイン製作のための基本事項を検討した。検討内容と検討結果は次の通りである。

①制服の構成とアイテム

制服の構成は上衣＋中衣（上衣の内側に着用する衣服）＋下衣とし、附属品はボタンのみ（リボン、ネクタイは保護者の費用負担軽減のため無しとする）となった。アイテムについて、冬季はジャケット＋シャツ・ポロシャツ＋スラックス・スカート・キュロットの組み合わせ、夏季はシャツ・ポロシャツ＋スラックス・スカート・キュロットの組み合わせとなった。

②らしさ（オリジナリティ）の表現方法

制服の構成のうち、「一宮らしさ」は上衣（ジャケット）と下衣（スラックス・スカート・キュロット）のデザイン（形、色、素材）および附属品（ボタン）において表現する。「学校らしさ」は上衣の一部分に学校独自のデザイン（校章、名札、ワッペンなど）を取り入れられる部分を設けて表現する。「自分らしさ」については中衣を指定せず、シャツもしくはポロシャツのどちらか（ただし色は白、襟付き、袖付き、ボタン付き）を自身で選択して着用できるようにし、下衣のデザインについてもスラックス・スカート・キュロットのいずれを選択・着用してもよい（性別不問）、とすることで表現できるようにした。

③みんなの想い（提案文）の具体化

みんなの想い（提案文）にこれまでに行った小学生、中学生、教員、保護者を対象としたアンケート調査の結果を当てはめることで、想いの具体化（かたちにする作業）を行った。

・**基本デザイン作製と附属品の検討（1 月）**

基本事項に従い、サポートメーカーによって 5 体（5 種類）の基本デザインが作製された。なお、新制服には一宮市認証マーク（一宮市が認めた規定に沿った制服であることを証明するマーク）をつけること、ブレザー用ボタンのデザインについて検討した。

・**「夢サミット」開催（1 月）**

令和 3 年（2021 年）1 月 26 日（火）に令和 2 年度中学生いちのみや「夢サミット」～だいすき一宮　一宮にふさわしい制服について考えよう～を開催した。全 19 中学校のうち代表校 1 校の生徒がサポートメーカーの作成した 5 種

類の基本デザインを実際に着装し、オンラインで 18 校の代表生徒らが着装状態を確認しつつ意見交換を行った。最後に投票によって基本デザインを 5 体から 3 体に絞り、最終投票を行うこととなった。

令和 2 年度中学生いちのみや「夢サミット」 開催の様子

・ **基本デザイン最終候補の巡回展示と最終投票（2 月～3 月）**

令和 3 年（2021 年）1 月 26 日（火）に開催した「夢サミット」で決定した最終候補 3 体を市内全小中学校で巡回展示した。また、令和 3 年（2021 年）1 月 29 日（金）～2 月 5 日（金）には一宮市教育センター第 3 研修室にて一般展示を行い、1,200 名を超える人々が足を運んだ。巡回展示並びに一般展示後、小 1～小 6 の児童、中 1～中 2 の生徒、小中学校教員（計 25,248 名）の「みんな」による投票で新制服基本デザイン（1 体、獲得票率 66.0%）を決定した。

一般展示の様子

標 準 機 能

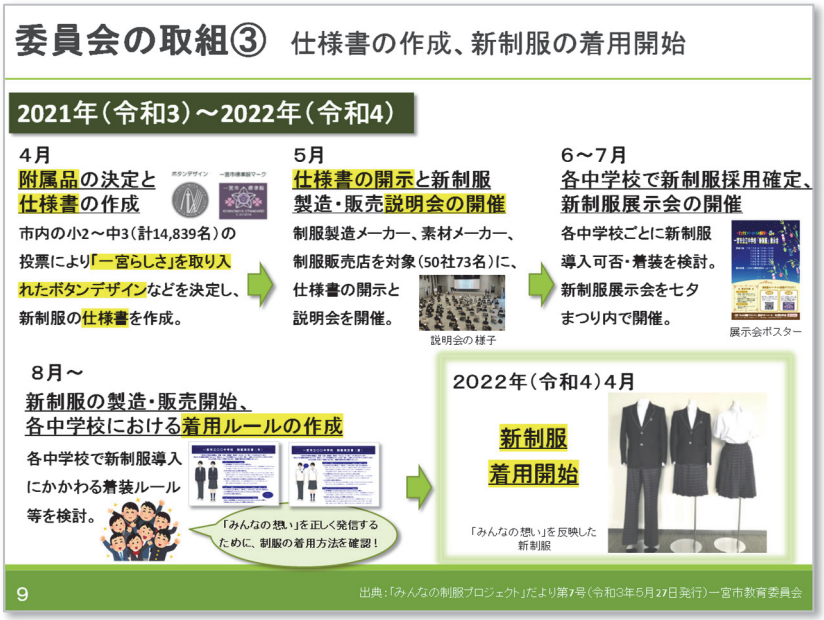
【ブレザー素材】
◆家庭洗濯可能（洗濯機にて）
◆ストレッチ有り
◆雨や汚れをはじく撥水機能
◆袖口に反射パイピング
（登下校時の安全性アップ）
◆取り外せるボタンで前合わせを変更可能

【ボトム素材】
◆家庭洗濯可能（洗濯機にて）
◆優れた耐久性

投票により決定した新制服基本デザイン

3-2. 令和３年度（2021 年４月～2022 年３月）

令和３年度（202１年度）の委員会の取組概要をまとめた図を以下に示す。



「みんなの制服プロジェクト」委員会　2021 年度の取組

各取組の概要は以下の通りである。

・附属品決定と仕様書の作成（４月）

ボタンデザインは「一宮らしさ（一宮のよさ）」のアンケート結果をもとに５点作成し、小学２年生～中学１年生、計 14,839 名による投票を行った。その結果、以下に示すデザイン①（１３８タワー・七夕の吹き流し）を挙げた人が 35%と最も多かった。詳細については付録５を参照されたい。

ボタンデザイン　一宮市標準服マーク

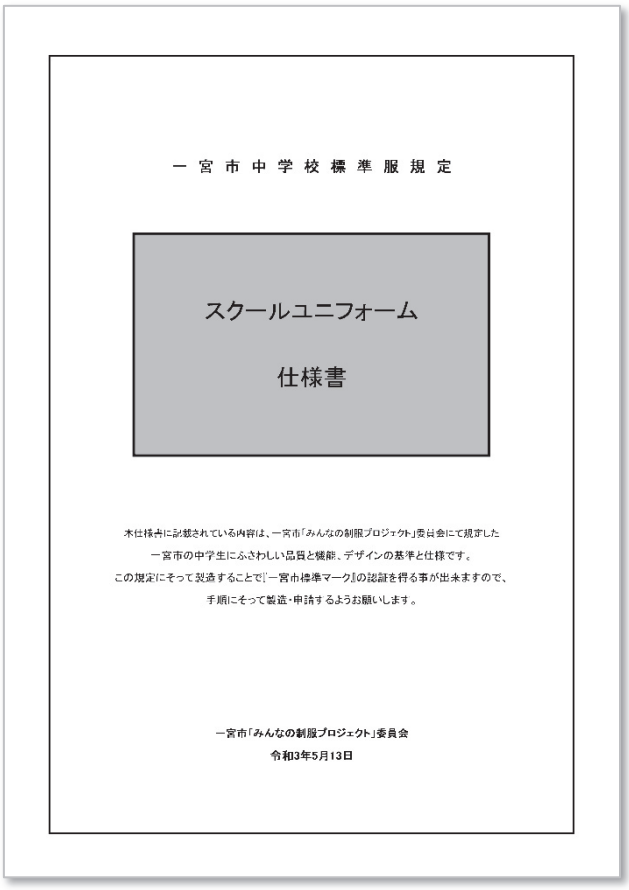
新制服のボタンデザインと一宮市標準マーク

・仕様書の開示と新制服の製造・販売説明会の開催（５月）

令和３年（202１年）５月 13 日（木）に一宮地場産業ファッションデザインセンターにて仕様書の開示と新制服の製造・販売に関する説明会を開催した。説明会には制服の素材や製造を扱う企業、制服販売店から 50 社 73 名の参加があった。作成した仕様書には、委員会において規定した一宮市の中学生にふさわしい品質と機能、デザインの基準と仕様を記載している。この規定に沿って製造することで「一宮市標準マーク」の認証を得ることが可能となる。なお、認証マークがない新制服は販売・着用できないとした。

製造参入を希望する場合は、仕様書の規定に基づいてサンプルを製造し、使用する素材について各アイテム１品番以上は「尾州マーク」の申請を行うことを条件とした。なお、仕様書の表紙裏には新制服導入の経緯と「みんな」の「想い」を掲載することで、着用者だけでなく制服の製造・販売に携わる人々に「みんな」の「想い」を制服で表現し、届けてほしいという「委員会」の「想い」を掲載した。この仕様書は、一宮市教育委員会教育部学校教育課一宮市中学校制服担当者に問い合わせて入手することができる。

新制服の製造・販売説明会の開催



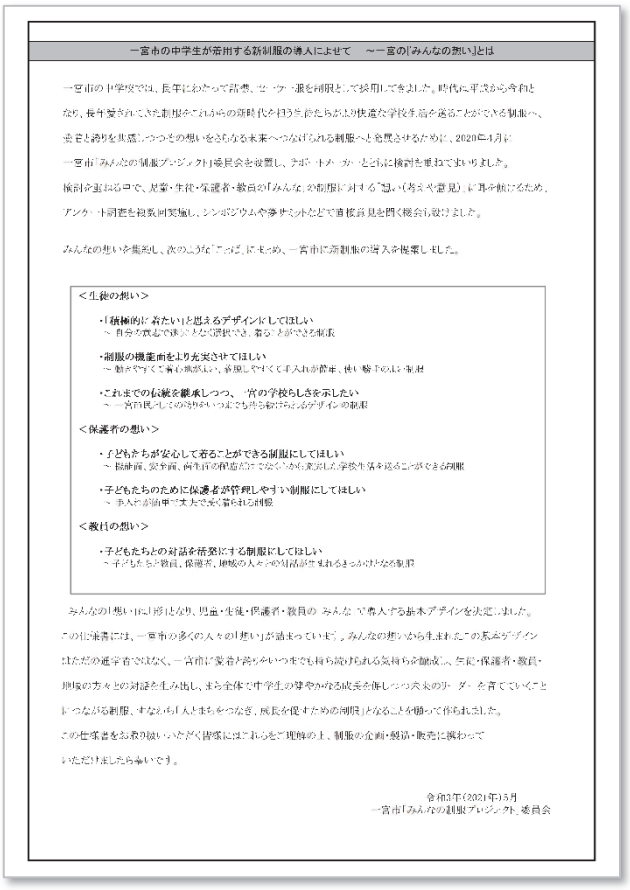
一宮市中学校標準服規定

スクールユニフォーム

仕様書

本仕様書に記載されている内容は、一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会にて規定した
一宮市の中学生にふさわしい品質と機能、デザインの基準と仕様です。
この規定にそって製造することで「一宮市標準マーク」の認証を得る事が出来ますので、
手順にそって製造・申請するようお願いします。

一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会
令和3年5月13日



一宮市の中学生が着用する新制服の導入によせて　～一宮の「みんなの想い」とは

一宮市の中学校では、長年にわたって詰襟、セーラー服を制服として採用してきました。時代に平成から令和となり、長年愛されてきた制服をこれからの新時代を担う生徒たちがより快適な学校生活を送ることができる制服へ、愛着と誇りを共感しつつその想いをさらなる未来へつなげられる制服へと発展させるために、2020年4月に一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会を設置し、ラボ・トメ・カーとともに検討を重ねてまいりました。

検討を重ねる中で、見童・生徒・保護者・教員の「みんな」の制服に対する「想い（考えや意見）」に耳を傾けるため、アンケート調査を複数回実施し、シンポジウムや夢サミットなどで直接意見を聞く機会も設けました。

みんなの想いを集約し、次のような「こだ」にもとめ、一宮市に新制服の導入を提案しました。

＜生徒の想い＞

・「積極的に着たい」と思えるデザインにしてほしい
～自分の意志で迷うことなく選択でき、着ることができる制服

・制服の機能面をより充実させてほしい
～動きやすくて着心地がよい、手洗いやすくて手入れが簡単、使い勝手のよい制服

・これまでの伝統を継承しつつ、一宮の学校らしさを示したい
～一宮市民としての誇りをいつまでも持ち続けられるデザインの制服

＜保護者の想い＞

・子どもたちが安心して着ることができる制服にしてほしい
～機能面、安全面、衛生面の配慮だけでなくしかも充実した学校生活を送ることができる制服

・子どもたちのために保護者が管理しやすい制服にしてほしい
～手入れが簡単で丈夫で永く着られる制服

＜教員の想い＞

・子どもたちとの対話を活発にする制服にしてほしい
～子どもたちと教員、保護者、地域の人々との対話が生まれるきっかけとなる制服

みんなの「想い」に「形」となり、見童・生徒・保護者・教員の「みんな」で導入する基本デザインを決定しました。

この仕様書には、一宮市の多くの人々の「想い」が詰まっています。みんなの想いから生まれたこの基本デザインはただの通学者ではなく、一宮市に愛着と誇りをいつまでも持ち続けられる気持ちを醸成し、生徒・保護者・教員・地域の方々との対話を生み出し、まち全体で中学生の輝やかなる成長を促しつつ未来のリーダーを育てていくことにつながる制服、すなわち「人とまちをつなぎ、成長を促すための制服」となることを願って作られました。

この仕様書をお取り扱いいただく皆様にはこれらをご理解の上、制服の企画・製造・販売に携わっていただけましたら幸いです。

令和3年（2021年）5月
一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会

新制服の仕様書（表紙と表紙裏）

・中学校における新制服採用確定、新制服展示会の開催（6 月～7 月）

市内全 19 中学校で、令和 4 年（2022 年）4 月より新制服を導入することが決定した。また、以下のルールのもとで着用されることが一宮市から発表された。

＜新制服について＞

（1） 令和 4 年 4 月から導入する新制服は、性差を問わず「上：ブレザー、下：スラックス・スカート・キュロットの 3 タイプから選択」する。

（2） ブレザーの下に着るものについては、白で襟付き・袖付き・ボタン付きのカッターシャツ、ニットシャツ、ポロシャツとする。（ポケットの有無は問わない）

（3） 夏服の上については、現行の開襟シャツ、白で襟付き・袖付き・ボタン付きの半袖カッターシャツ、半袖ニットシャツ、半袖ポロシャツとする。（ポケットの有無は問わない）

新制服の着用は令和 4 年度入学の新 1 年生より採用するが、現行の詰襟学生服・セーラー服の着用も認めることとした。令和 4 年度の新 2・3 年生は、原則、卒業まで現行の詰襟学生服・セーラー服とするが、新制服への変更も認めることとした。

令和 4 年（2022 年）4 月に導入される新制服

・新制服の製造・販売開始、各中学校における着用ルールの作成（8 月～）

新制服の製造・販売を開始し、各中学校で新制服導入にかかわる着装ルール等の検討が以下の通り進められた。

新制服規定書（サンプル）

3-3. 令和４年度（2022 年４月～2023 年３月）

一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会は一宮市の中学生の制服について協議することを目的としており、令和４年度（2022 年）４月の新制服導入をもってその目的を達成し、役割を果たした。しかし、導入後に「みんな」の「想い」が「かたち」となり完成した新制服の着用ならびに着用者の周囲の人々や学校がどのような影響を受けたのか、すなわち新制服の服育効果を検証する必要がある。

そこで、一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会の委員長を務め、被服心理学と被服意匠・色彩学を専門分野としている内藤章江（お茶の水女子大学）が一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会事務局（以後、委員会事務局と呼称）の協力を得て新制服導入による服育効果の検証を担当した。本項は内藤が委員会事務局の協力を得て実施した内容を記載する。

・新制服着用開始（４月）

市内全 19 中学校で着用が開始され、新制服を着用した中学生が登校する様子は一宮の街の風景を変えた。新制服導入に伴う変化は風景だけでなく、新制服生地の端切れを使用した尾州 SDGs グッズの販売、新中学 1 年生への就学援助費の増額など、取組が発展する様子が認められた。

新制服生地の端切れを使用した尾州 SDGs グッズ

・新制服導入による効果測定～生徒・保護者・教員調査（４月～5 月）

新制服導入の効果測定のためのアンケート調査を実施した。調査内容、調査対象、調査方法、調査内容、調査結果を以下に示す。

＜調査目的＞

児童・生徒・教員・保護者の想いが新制服に反映されているかを確認し、新制服が着用者とその周囲に及ぼす心理的影響力（服育効果）について検証することを目的としている。

＜調査対象＞

・小学校６年生（１年後に着用する）
・中学校１年生（４月から着用）
・中学校２年生（新制服の検討に関わった）

男女　計　約 10,000 名　　有効回答数　5,469 名

・小学校６年生～中学校２年生の保護者
・小中学校の教員

男女　計　約 10,000 名　　有効回答数　6,642 名

＜調査方法＞

(1)実施期間

・児童・生徒　　令和４年（2022 年）４月 21 日（木）～ ５月 13 日（金）
・教員・保護者　　令和４年（2022 年）４月 21 日（木）～ ４月 27 日（水）

(2)実施方法

・児童・生徒　　実施期間中に chromebook を利用して実施する。
・教員　　デスクネッツで URL を配信する。
・保護者　　保護者メールでアンケートのＵＲＬを配信する。

＜調査内容＞

児童・生徒用　※Ⅰ、Ⅱともに「そう思わない」、「ややそう思う」、「かなり思う」、「とてもそう思う」の４段階で回答。

Ⅰ.新制服が導入されて「よかった」と思うこと

1）着用したいと思うデザインになってよかった
2）着用したいボトムス（スラックス、スカート、キュロット）が選べるようになってよかった
3）ブレザーの下に着るシャツやポロシャツ（白のえり付き、そで付き、ボタン付きの条件のみあり）が選べるようになってよかった
4）多様性（性別や体型などへの対応）が配慮されていてよかった
5）制服の機能面（動きやすい、着心地がよい、着脱しやすい、手入れが簡単、ポケットが増えた、など）が充実してよかった
6）制服の安全面（反射材、キュロット導入など）が配慮されていてよかった
7）一宮の学校らしさ（地域性を表すデザイン、ボタン、生地など）が表れていてよかった
8）一宮の街の風景や印象をよりよいものにしてくれるのでよかった

Ⅱ.新制服導入により醸成される（期待される）「気持ち」について　新制服を着用するとどのような気持ちになると思いますか？

1）学校に行きたくなる
2）通っている学校の一員であることを自覚する
3）学校生活（勉強や部活など）を頑張りたくなる
4）一宮市の中学生であることを誇りに感じる
5）着ている姿を誰かに見てほしくなる
6）クラスメイトとの仲間感・連帯感が強くなる
7）中学生としてふさわしい行動をしたくなる
8）制服や制服の着こなし方に関心を持つようになる
9）自分が着る服（制服以外の服）や着こなし方について関心を持つようになる
10）学校生活における様々なやり方やルール（校則など）をよりよいものにしたくなる

保護者・教員用　※Ⅰ、Ⅱともに「そう思わない」、「ややそう思う」、「かなり思う」、「とてもそう思う」の４段階で回答。

Ⅰ.新制服が導入されて「よかった」と思うこと

1）中学生に着用してもらいたいと思うデザインになってよかった

2）中学生が着用したいボトムス（スラックス、スカート、キュロット）を選べるようになってよかった

3）ブレザーの下に着るシャツやポロシャツ（白のえり付き、そで付き、ボタン付きの条件のみあり）が自由に選べるようになってよかった

4）多様性（性別や体型などへの対応）が配慮されていてよかった

5）制服の機能面（動きやすい、着心地がよい、着脱しやすい、手入れが簡単、ポケットが増えた、など）が充実してよかった

6）制服の安全面（反射材、キュロット導入など）が配慮されていてよかった

7）一宮の学校らしさ（地域性を表すデザイン、ボタン、生地など）が表れていてよかった

8）一宮の街の風景や印象をよりよいものにしてくれるのでよかった

Ⅱ.新制服導入により醸成される（期待される）「気持ち」について　一宮市の中学生は新制服を着用することでどのような気持ちになると思いますか。

1）学校に行きたくなる

2）通っている学校の一員であることを自覚する

3）学校生活（勉強や部活など）を頑張りたくなる

4）一宮市の中学生であることを誇りに感じる

5）着ている姿を誰かに見てほしくなる

6）クラスメイトとの仲間感・連帯感が強くなる

7）中学生としてふさわしい行動をしたくなる

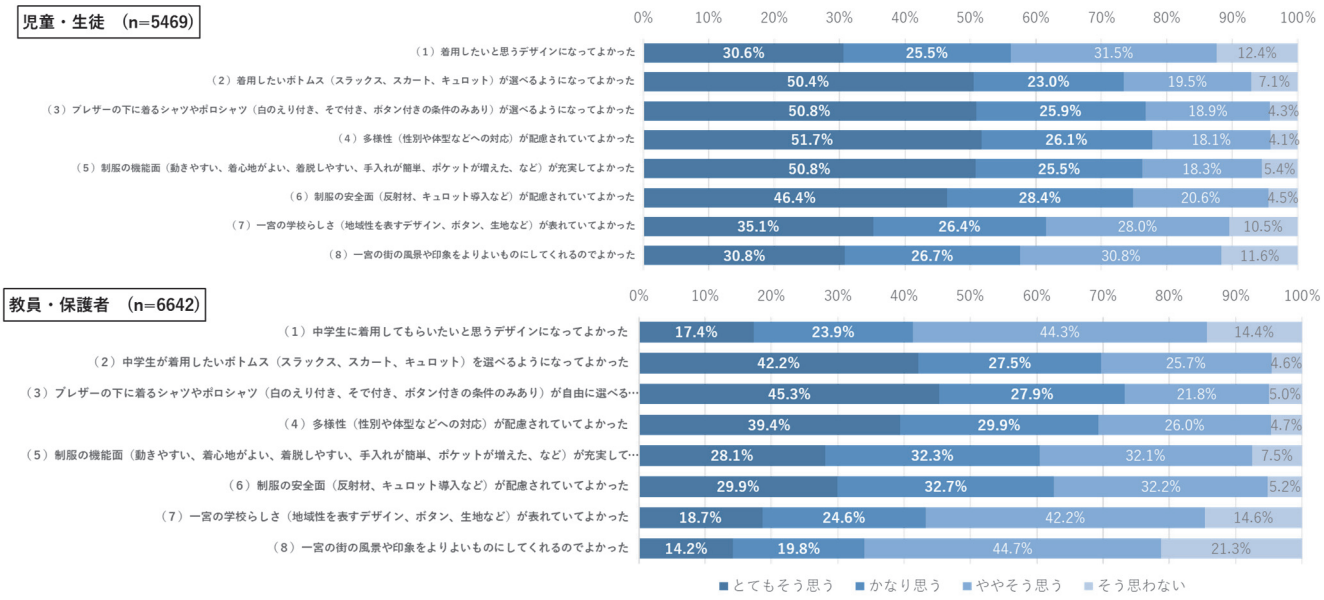
8）制服や制服の着こなし方に関心を持つようになる

9）自分が着る服（制服以外の服）や着こなし方について関心を持つようになる

10）学校生活における様々なやり方やルール（校則など）をよりよいものにしたくなる

＜調査結果＞

Ⅰ.新制服が導入されて「よかった」と思うこと（回答傾向）

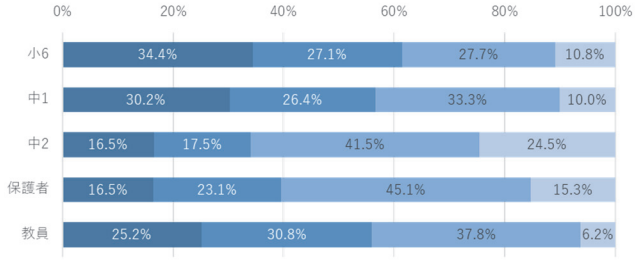


全項目において児童・生徒の方が「とてもそう思う」と「かなり思う」の回答割合が高くなる傾向が認められた。

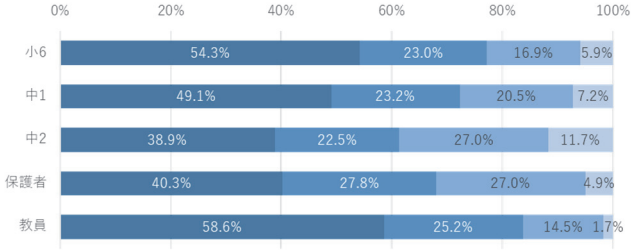
特に（２）ボトムス　や（３）シャツやポロシャツ　の選択可、（４）多様性配慮への評価が高い。

Ⅰ.新制服が導入されて「よかった」と思うこと（属性比較）

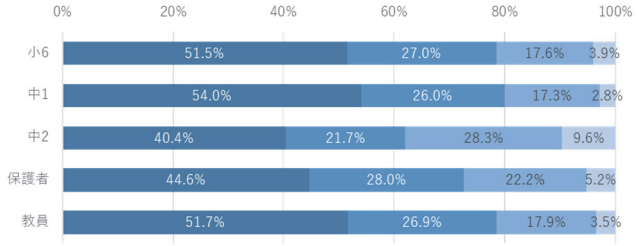
（1）着用したいと思うデザインになってよかった



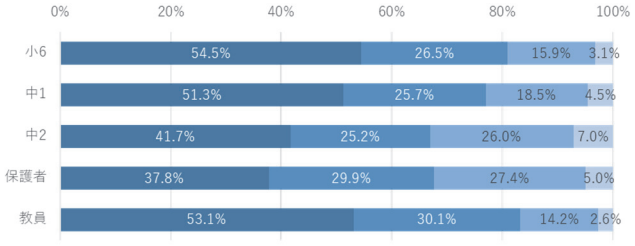
（2）着用したいボトムス（スラックス、スカート、キュロット）が選べるようになってよかった



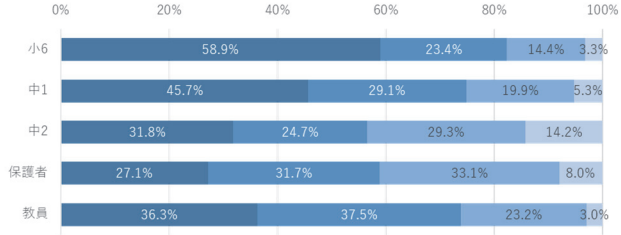
（3）ブレザーの下に着るシャツやポロシャツ（白のえり付き、そで付き、ボタン付きの条件のみあり）が選べるようになってよかった



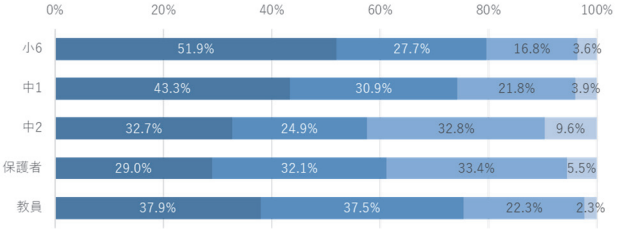
（4）多様性（性別や体型などへの対応）が配慮されていてよかった



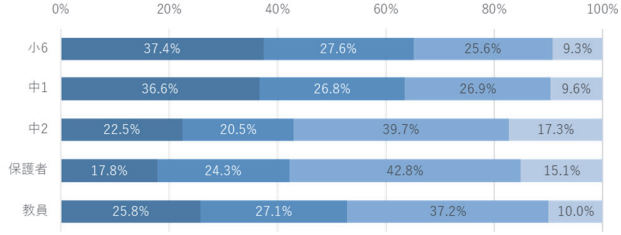
（5）制服の機能面（動きやすい、着心地がよい、着脱しやすい、手入れが簡単、ポケットが増えた、など）が充実してよかった



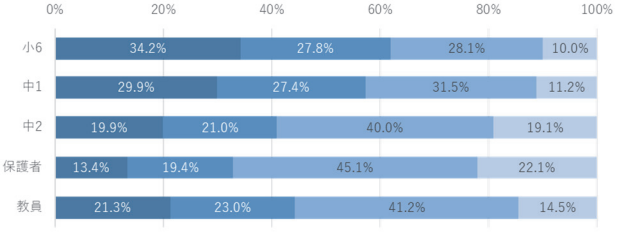
（6）制服の安全面（反射材、キュロット導入など）が配慮されていてよかった



（7）一宮の学校らしさ（地域性を表すデザイン、ボタン、生地など）が表れていてよかった



（8）一宮の街の風景や印象をよりよいものにしてくれるのでよかった



全項目において保護者・教員よりも児童・生徒の方が「とてもそう思う」と「かなりそう思う」の回答割合が高くなる傾向が認められた。属性ごとに見ると、小６における「とてもそう思う」と「かなりそう思う」の回答割合が特に高く、次いで中１、中２の順に高くなった。この結果から、今後着用を予定している児童は新制服導入のよかった点をより感じていることがわかった。

教員や保護者は（１）～（６） の制服のデザインや機能性、多様性などにおいては「とてもそう思う」と「かなり思う」の回答割合が高いものの、（７）や（８）の一宮らしさについては児童・生徒よりも回答割合は低い。これより、新制服を着用する（または着用予定の）本人が感じている「よかった点」と、子どもに着せたいと思う保護者や教員の感じている「よかった点」は相違すると考えられる。

その他「よかった」と思うこと（自由記述一例）

以下の通り、「みんな」で討議・投票・決定した内容が「よかったこと」として複数挙げられた。

【児童・生徒】

・制服が変わってワクワクする！

・学校が楽しくなった

・ここだけの制服っていうのがいい

・制服について投票をさせてくれたところ

・ボタンに、一宮タワーの柄がついていて良いと思う

【保護者】

・詰襟制服よりも、機能性、通気性の高いものになり大変満足。デザインも落ち着きのあるもので親しみやすい。

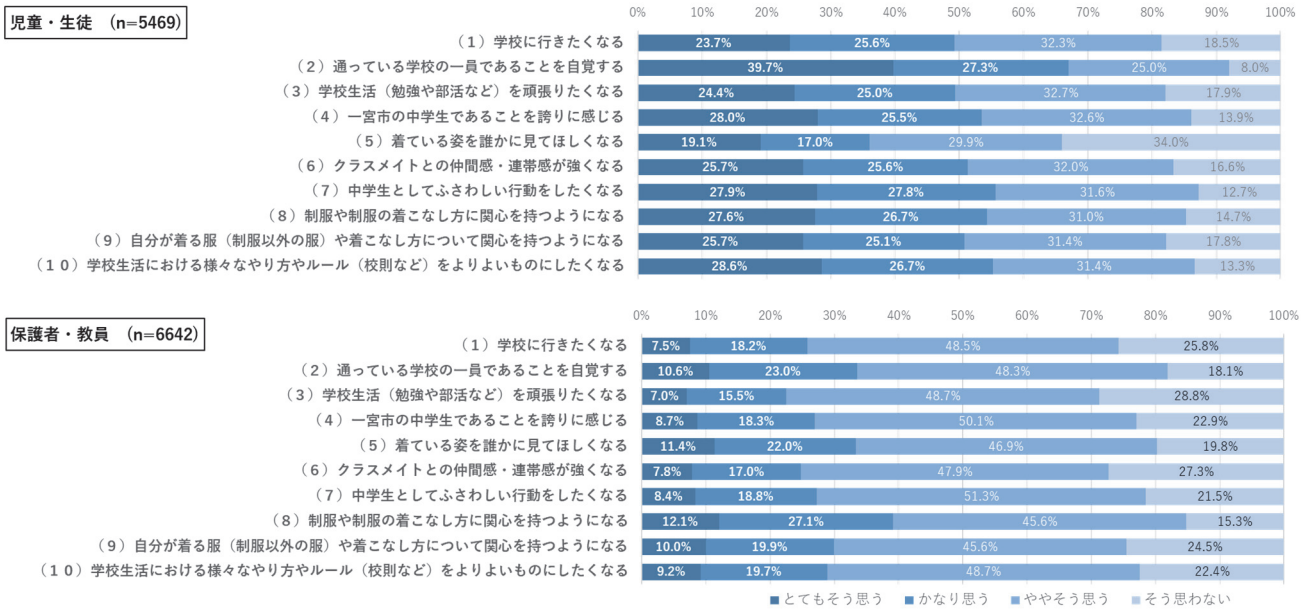
・制服の選定時に、実際にこのあと着る子どもたちに意見を求めたのはよかったと思います。

【教員】

・制服の定義について考え直すきっかけとなった。

・性同一性障害の子がズボンがはけるようになってよかったと言っていました。

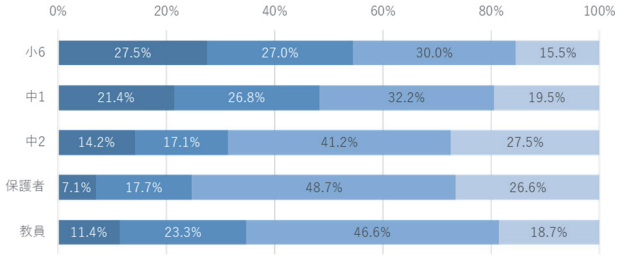
Ⅱ.新制服導入により醸成される（期待される）「気持ち」について（回答傾向）



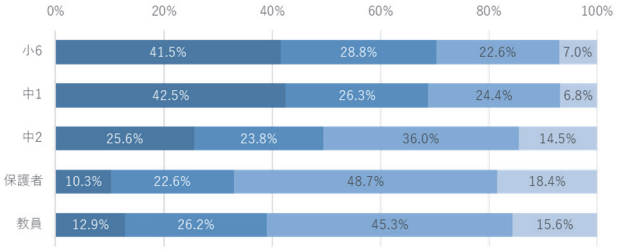
児童・生徒は（２）通っている学校の一員であることを自覚すること、において「とてもそう思う」と「かなり思う」の回答割合が最も高く、次いで（４）一宮市の中学生であることに誇りを感じる、（７）中学生としてふさわしい行動をしたくなる、の回答割合も高くなった。全項目において児童・生徒の方が「とてもそう思う」と「かなり思う」の回答割合は高く、新制服の導入・着用は様々な気持ちを醸成し、特にスクールプライドやシビックプライドを強く育む効果があると考えられる。なお、保護者・教員は（８）制服と制服の着こなし方に関心を持つようになる、において「とてもそう思う」と「かなり思う」の回答割合が高くなることから、教育的観点からの服育効果を期待していることがうかがえた。

Ⅱ.新制服導入により醸成される（期待される）「気持ち」について（属性比較）

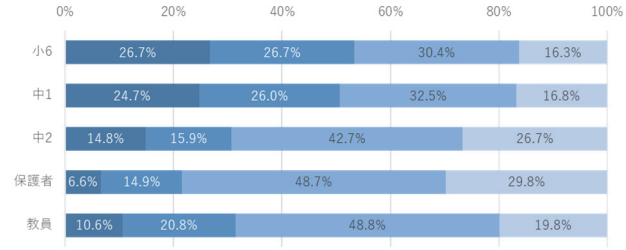
（1）学校に行きたくなる



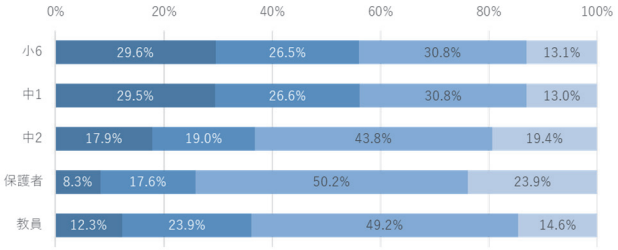
（2）通っている学校の一員であることを自覚する



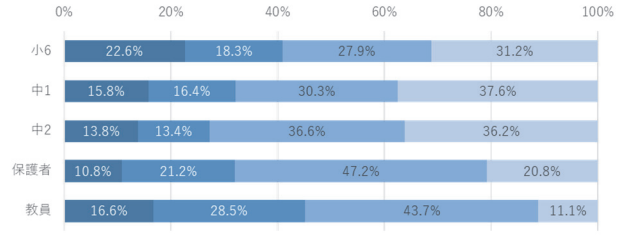
（3）学校生活（勉強や部活など）を頑張りたくなる



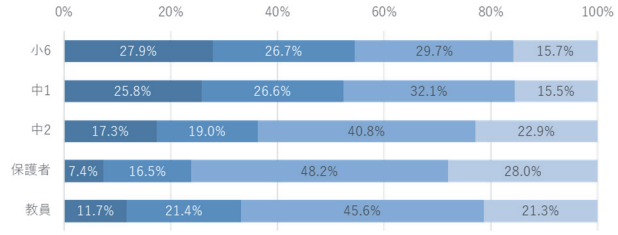
（4）一宮市の中学生であることを誇りに感じる



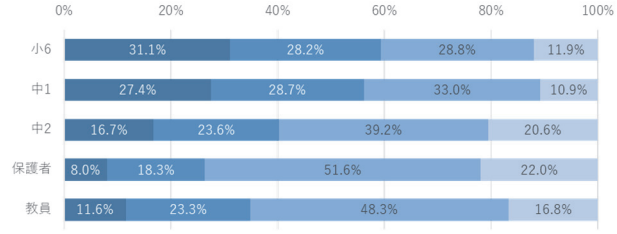
（5）着ている姿を誰かに見てほしくなる



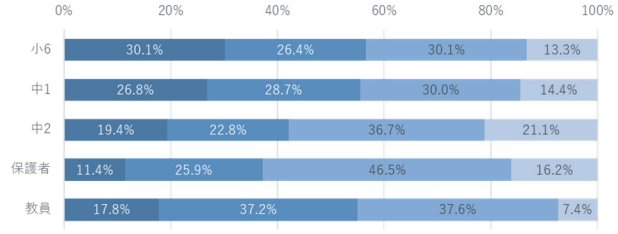
（6）クラスメイトとの仲間感・連帯感が強くなる



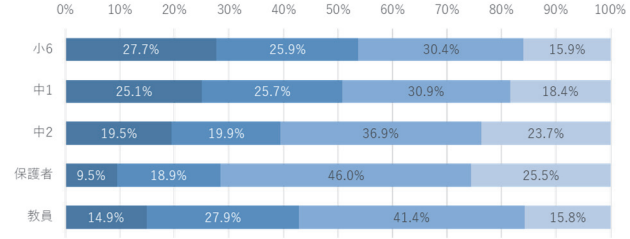
（7）中学生としてふさわしい行動をしたくなる



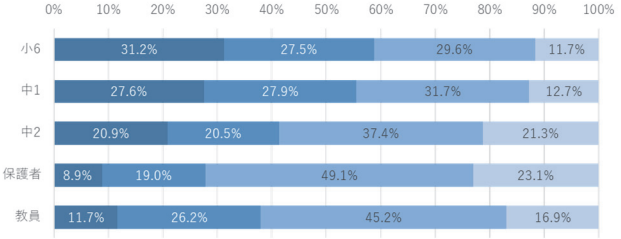
（8）制服や制服の着こなし方に関心を持つようになる



（9）自分が着る服（制服以外の服）や着こなし方について関心を持つようになる



（10）学校生活における様々なやり方やルール（校則など）をよりよいものにしたくなる



■とてもそう思う ■かなり思う ■ややそう思う ■そう思わない

いずれの項目も保護者・教員よりも児童・生徒の方が「とてもそう思う」と「かなり思う」の回答割合は高く、小 6、中 1、中 2 の順にその傾向は強くなった。今後着用を予定している児童の新制服に対する期待感の高さが示された。

＜まとめ＞

・「みんな」で討議・投票・決定した内容が「よかったこと」として複数挙がった。

・児童・生徒は「１.新制服導入のよかったこと」（１）～（８）の全項目で「とてもそう思う」「かなり思う」の回答割合が保護者・教員より高く、「新制服導入により醸成される（期待される）『気持ち』」においても同様の傾向が認められた。

・生徒（中１、中２）よりも児童（小６）のほうが、また、保護者よりも教員のほうが新制服導入に対する評価は「よかった」と思う気持ちが強く、「期待感」も強いことがわかった。

・新制服の導入は、通っている学校の一員であることを自覚することに特に有効に働き、一宮の中学生であることに誇りを感じる気持ちも育むなど、着用者である生徒とこれから着用者となる児童の「気持ちの醸成」に影響する。

これらの調査により、新制服導入に「みんなの想い」を反映することは着用に対する期待感を高め、着用開始後にはスクールプライドやシビックプライドを育む効果があることが明らかとなった。なお、これらの調査結果は引き続きより詳細な分析を行っている。分析結果は新たにまとめて発表・発信する予定である。

・新制服導入による学校の様子の変化～中学校長ヒアリング（12 月）

令和４年（2022 年）４月の新制服着用開始直後に新制服導入の効果測定アンケート調査を実施し、その効果を明らかにしたが、新制服導入から半年以上経過し、学校の様子はどのように変化したのだろうか。そこで、新制服を導入した全 19 中学校の校長を対象にオンラインヒアリングを実施した。目的、方法、ヒアリング内容、結果は次の通りである。

＜ヒアリングの目的＞

令和４年（2022 年）４月に導入された新制服により、学校の様子はどのように変化したのか、また、「みんな」の「想い」を「かたち」にした新制服は実現できているのか、を明らかにすることを目的としている。

＜ヒアリングの対象者＞

一宮市内の全中学校（19 校）の校長　計 19 名　※学校の代表者として、学校全体の様子について回答

＜ヒアリング時期と方法＞

令和４年（2022 年）12 月上旬に Google フォームを用いて実施した。

＜ヒアリング内容＞

Q1. 新制服の導入（導入過程含む）が貴学にもたらした影響や変化があれば教えてください。

Q2. 令和２年 11 月 14 日（土）に開催したみんなの制服プロジェクトシンポジウムにおいて「市への提案文」が提言されました。新制服はこれらの提案文の通りになっている（実現している）と思いますか？それぞれの項目について「全く実現していない」～「しっかり実現している」の５段階でお答えいただき、その理由についてもお答えください。

市への提案文

◆生徒の想い

・積極的に着たい！と思えるデザインにしてほしい！

・制服の機能面をより充実させてほしい！

・これまでの伝統を継承しつつ、一宮の学校らしさを示したい！

◆保護者の想い

・子どもたちが安心して着ることができる制服にしてほしい！

・子どもたちのために保護者が管理しやすい制服にしてほしい！

◆教員の想い

・子どもたちとの対話を活発にする制服にしてほしい！

＜ヒアリング結果＞

Q1．新制服の導入（導入過程含む）が貴学にもたらした影響や変化があれば教えてください。

・家庭状況や生徒自身の感じ方によって自ら選択するようになった。

・新制服について生徒会が中心になって全校生徒から意見を集めることができた。

・生徒のジェンダー意識が高まった。

・制服を含めた校内生活上のきまりについて、生徒が自分たちのこととして考えることができる、実現することができるという実績が自治的な雰囲気を高めている。

・新制服導入に伴い、靴や靴下の種類を増やしたり、シャツの着こなし方などを生徒会で話し合うようになった。

・生徒会が中心となり、ルールなどを生徒たち自身で作っていくなど自治的な活動が見られた。

・導入の際、生徒会を中心に制服の着方、制服のルールについて真剣に話し合う場面が見られた。

・自分たちがルールを作り、過ごしやすい環境を作るという高い意識が見られた。

・導入過程で、卒業していく 3 年生も含めて校内の身なりの見直しをしたことで、着こなしのルールを話し合えたこと

・制服を主とした様々な身だしなみについて見直すきっかけとなった

・教員間の話し合いが増えた

・生徒たちが自分事として制服に関することや身なりについて考える機会となった。

・新制服の導入・着用方法の見直しにより，靴・靴下等の色など，選択肢が増えたことはよいと思う。

・生徒代表と教師が制服の着こなしについて話し合う機会を設けるきっかけとなった。

・新制服の導入に伴い，服装等の様々なルールが見直され，選択の幅が広がったため，その点は生徒や保護者に好評であった。

・服装のきまりについて、生徒自身が考えるきっかけになった。

・バリエーションが増え、気候に合わせた着こなしや性差にとらわれない着こなしが可能になった。

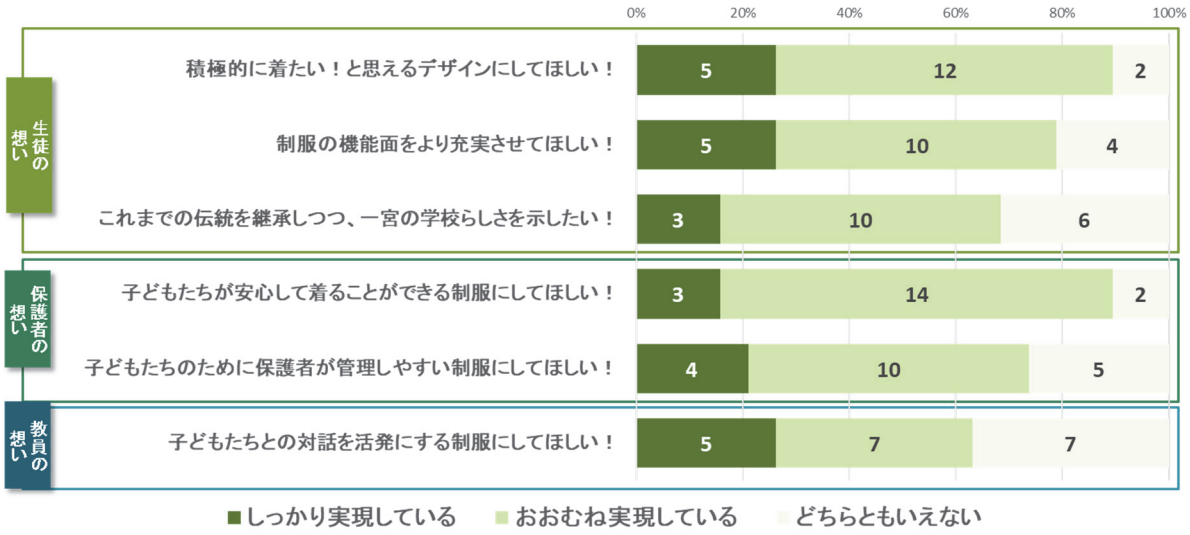
・特に大きな変化や影響はなかったが、生徒手帳の改定や着こなし方の文言が旧制服と 2 種類に なり、区別して提示することになった。

・生徒会役員と生徒指導主事等、職員と着こなしについて話し合う機会を定期的に設けることができた。

・学校のルールについて、生徒とともに考える良い機会となった。
・学校生活について、ルールについて、「自分ごと」として考え、よりよい学校生活のために変えていくことを具体的に考え、行動する雰囲気が少しずつではあるが高まってきている。
・バリエーションが増え、季節に合わせた着こなしや性差にとらわれない着こなしが可能になった。
・今年度（令和 4 年度）にも、新制服導入時期とは違う新たな生徒のメンバーと担当教師で、校内も新たな
・制服プロジェクト委員会を立ち上げ、新制服導入後の学校生活について意見交換をする機会を設けた。
・新制服導入後に生活のきまりを見直した。

ヒアリングの結果、新制服が導入されたことにより、ジェンダー意識の高まりや校内の身なりの見直し、ルールを生徒自身で作る、自分事として制服に関することや身なりについて考える機会となったなど、生徒の意識を変革し、積極性を助長することにもつながり、新制服導入後も継続して学校生活についての意見交換の場を設ける学校も認められた。さらには、教員間の話し合いが増えたとの回答もあり、生徒間・教員間・生徒と教員間のコミュニケーションも活発になった様子がうかがえる。

Q2. 令和 2 年 11 月 14 日（土）に開催したみんなの制服プロジェクトシンポジウムにおいて「市への提案文」が提言されました。新制服はこれらの提案文の通りになっている（実現している）と思いますか？それぞれの項目について「全く実現していない」～「しっかり実現している」の 5 段階でお答えいただき、その理由についてもお答えください。



新制服導入に関する「市への提案文」実現度合いの評価　(中学校長 19 名による評価)

「みんなの想い」が「かたち」となった新制服が導入され、その制服を着用している中学生の様子、教員の様子、保護者の様子から新制服導入に関する「市への提案文」の実現度合いを中学校長に評価してもらった。その結果、いずれの提案文においても「全く実現していない」と「あまり実現していない」の回答は見られず、「しっかり実現している」と「実現している」が回答の多くを占める結果となった。この結果から「提案文」の内容が新制服によって実現（具現化）されていると評価できる。

・「夢サミット」の開催（12 月）

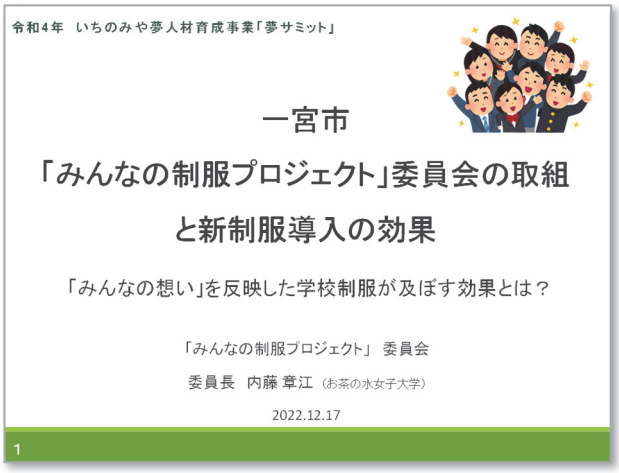
一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会における令和 2 年度～令和 3 年度（2020 年度～2021 年度）の 2 年間の取組と新制服導入による効果の検証（2022 年度）の結果を報告し、これらの取組プロセスを「学び」として今後に生かすため、令和 4 年度いちのみや夢人材育成事業「夢サミット」においてプロジェクトの総括と取組プロセスを展開・活用するためのワークショップを開催した。概要は以下の通りである。なお、詳細については付録 6 を参照されたい。

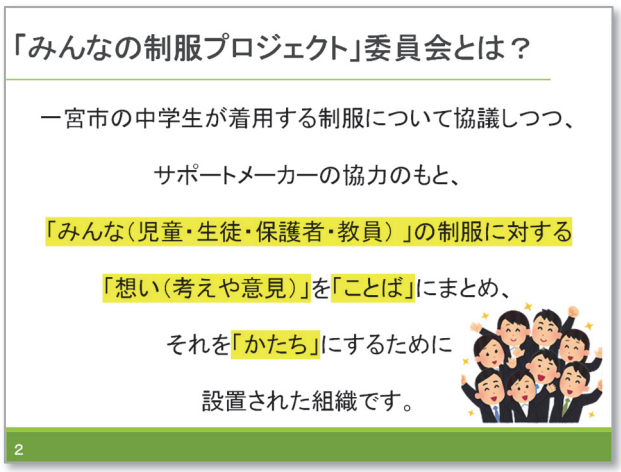
【概要】

・令和 4 年（2022 年）12 月 17 日(土) 10 時より一宮市役所本庁舎 1401 会議室にて開催した。参加者は一宮市立 19 中学校の中学 1 年生または 2 年生の計 50 名、一宮市長、一宮市議会経済教育委員長、一宮市立小中学校校長会長、教育長、教育委員、「みんなの制服プロジェクト」委員、「みんなの制服プロジェクト」サポートメーカーなどであり、合計 100 名以上の盛会となった。

・初めに中野一宮市長のあいさつがあり、前半に新制服導入のふりかえりを行い、後半は新制服導入のプロセスを活用して「学校 PRIDE（強み）」をテーマとしたグループワークを実施した。このグループワークを経て、未来の学校を作る全体会（グループ協議、意見交換）を行った。

令和 4 年度　いちのみや夢人材育成事業「夢サミット」の様子





令和４年度　いちのみや夢人材育成事業「夢サミット」における新制服導入の振り返りスライド（一部）

夢サミットの前半に行った新制服導入の振り返りでは、委員会設置の経緯や設置前の取組内容の説明、委員会の取組の説明、新制服導入による効果検証の結果報告、新制服の他市や他県への広がり、取組のプロセスの再確認を行った。これらの説明や結果報告、取組プロセスをふまえて、中学生による後半の「学校 PRIDE」のグループ協議を行った。グループ協議では、初めに自校の強みを確認するグループワークを行い、その後、他校の人に自校の強みを紹介しつつ質疑応答を行うグループワークを実施した。各グループで出された意見や感想を集約・共有するために、中学校で使用しているタブレットを活用して意見を入力し、スクリーンに映し出して全員でその内容を確認した。他校の人からもらった意見をもとに、自校の取組をどのように発展させるのか検討するグループワークを行い、その内容を各校に発表してもらった。

夢サミットに参加した中学生は、自校の「よさ・強み」を再確認しつつ、他校の生徒とも交流しながらアイデアを出し合い、「みんな」でその意見や感想を共有することで、新たな「学校 PRIDE」を作り出すきっかけを得ており、想いや考えを「ことば」にして伝えること、「みんな」で話し合うことの重要性を実感した様子が見て取れた。新制服も対話から合意形成を得るプロセスを経て導入がなされており、このような手法を用いることで、様々な課題解決が可能であることを夢サミットに参加した中学生は実感したのではないだろうか。

4. 成果の発信と今後の展望

一宮市「みんなの制服プロジェクト」の取組や成果は、以下の方法で発信した。

◆みんなの制服プロジェクトだより（第 1 号～第 7 号）

一宮市教育委員会が発行。プロジェクトの取組状況や取組内容をまとめ、一宮市内の小中学校への配信、一宮市学校教育課のホームページに掲載して発信している。詳細は付録 7 を参照されたい。

◆一宮市教育委員会学校教育課ホームページ

一宮市教育委員会学校教育課が運営。委員会の会議録や委員名簿、プロジェクトだより、シンポジウムのチラシ配信や参加申込書、保護者アンケートの結果などを配信している。

【一宮市教育委員会学校教育課ホームページ】

http://www2.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2340009

※みんなの制服プロジェクトに関わる記事は 2020 年～2022 年に掲載されている。

◆一宮市ホームページ

一宮市ホームページの「教えて！学校情報」に「『みんなの制服プロジェクト』について」のメニューがあり、取組の概要が掲載されている。なお、関連情報として一宮市教育委員会学校教育課ホームページのリンクが掲載されている。また、夢サミットや新制服導入に関わる報道発表も行っている。

【一宮市ホームページ】　https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/index.html

【新制服導入に関わる報道発表】

・令和 2 年 11 月 19 日報道発表 「みんなの想いを『新制服』に！」についてのお知らせ（ページ ID 1037590）

・令和 3 年 1 月 25 日報道発表 「中学生いちのみや『夢サミット』」についてのお知らせ（ページ ID 1039002）

・令和 3 年 1 月 27 日報道発表 「一宮市中学新制服基本デザインサンプル」の展示について（ページ ID 1039067）

・令和 3 年 7 月 26 日報道発表「2021 年上半期市長表彰の決定について」のお知らせ（ページ ID 1041928）

※教育部　学校教育課　及び　一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会による「一宮市公立中学校新制服（標準学生服）の作成」が 2021 年上半期市長表彰を受けました。

・令和 4 年 12 月 13 日報道発表　令和 4 年度 いちのみや夢人材育成事業 夢サミットの開催について（ページ ID 1053885）

【ようこそ！市長室へ　市長メッセージ】

・12 月号　中学校の制服が変わります（ページ ID 1043520）

◆メディア掲載（新聞、テレビなど）

【新聞】

・令和 2 年 11 月 15 日（日）中日新聞　朝刊（尾張版）　「新制服への要望　中学生発表」

・令和２年 12 月 16 日（水）中日新聞　朝刊 「公立中　男女共通新制服導入へ」
・令和３年１月 27 日（水）中日新聞　朝刊「生徒が５サンプルから投票、３候補に　一宮の公立中の新制服」
・令和３年３月 26 日（金）毎日新聞　地方版「一宮市立中、19 校の制服変更　スラックス・スカート・キュロット　男女問わず自由に選択」
・令和３年５月 25 日（火）中日新聞　朝刊（尾張版）「一宮市の中学新制服決定」
・令和５年１月 25 日（水）朝日新聞　朝刊 「みんなで決めた一宮の新制服」

【テレビ】
・令和３年３月 11 日（木）NHK 名古屋放送局　情報番組 まるっと！市内小中学校制服巡回展示の様子
・令和３年３月 26 日（金）メ~テレアップ！制服のスカート・ズボン・キュロット、男女問わず選べます愛知の中学校

◆展示
・令和３年７月 13 日（火）～19 日（月）一宮七夕まつり～おりもの感謝祭～一宮市公立中学校「新制服」展示会（ｉビル３階多目的ルーム１・２）
・令和３年９月１日（水）～30 日（木）　138 タワーパーク「みんなの制服プロジェクト展」

一宮七夕まつり　チラシ

◆市長表彰
教育部　学校教育課　及び　一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会による「一宮市公立中学校新制服（標準学生服）の作成」は市内の小中学生や保護者の意見・希望を取り入れながら、中学校の制服のあり方についての検討を重ね、スラックス・スカート・キュロットを選択できる男女共通のブレザーという、新時代にふさわしい制服を作成したことが評価され、2021 年上半期市長表彰を受けた。

一宮市「みんなの制服プロジェクト」の取組成果は、近隣市町村や県外にまで波及し、一宮市と同様のプロセスを経て中学校の制服を再検討・新規導入が順次進められている。今後はこの取組プロセスを「一宮モデル」として広く活用できるよう発信する。なお、学術的にも意義ある取組であったことから、今後学術利用が可能な形で成果発信を行う。

おわりに

一宮市の中学生が着用する新制服の導入によせて

中学校で過ごす 3 年間は、心と身体が大きく変化・成長する時期にある。そして、この時期に同じ服を着用し、同じ時間を過ごすことは、着用者である中学生に人生における何かしらの「気づき」を与えることにつながるため、多面的に検討する必要があると言える。

令和 2 年（2020 年） 4 月、一宮市長の諮問を受けて一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会は設置された。この委員会は、一宮市が大切にする 3 つの視点をふまえ、児童・生徒・保護者・教員の「みんな」の制服に対する「想い（考えや意見）」に耳を傾け、多面的に検討し、「みんな」を代表して市に提言する役割を担っている。

そして、「みんなの想い」を「形」にする役割も果たしている。「みんなの想い」はアンケート調査やシンポジウム、夢サミットなどを通じて受け取った。この想いを集約し、次のような「ことば」にまとめ、一宮市に新制服の導入を提案した。

生徒の想い

- **「積極的に着たい」と思えるデザインにしてほしい**
  ～自分の意志で迷うことなく選択でき、着ることができる制服
- **制服の機能面をより充実させてほしい**
  ～動きやすくて着心地がよい、着脱しやすくて手入れが簡単、使い勝手のよい制服
- **これまでの伝統を継承しつつ、一宮の学校らしさを示したい**
  ～一宮市民としての誇りをいつまでも持ち続けられるデザインの制服

保護者の想い

- **子どもたちが安心して着ることができる制服にしてほしい**
  ～機能面、安全面、衛生面の配慮だけでなく心から充実した学校生活を送ることができる制服
- **子どもたちのために保護者が管理しやすい制服にしてほしい**
  ～手入れが簡単で丈夫で長く着られる制服

教員の想い

- **子どもたちとの対話を活発にする制服にしてほしい**
  ～子どもたちと教員、保護者、地域の人々との対話が生まれるきっかけとなる制服

令和 4 年（2022 年）春、「みんなの想い」は「ことば」から「かたち」になり、「一宮らしさ」、「学校らしさ」、そして「自分らしさ」を表現できる制服が市内全 19 中学校に導入された。この制服はただの通学着ではなく、一宮市に愛着と誇りをいつまでも持ち続けられる気持ちを醸成し、人々の対話を生み、まち全体で中学生の健やかなる成長を促しつつ未来のリーダーを育てる制服、すなわち「人とまちをつなぎ、成長を促すための制服」である。

この新制服にこめられた想いが着用者となる中学生、そして保護者・教員・地域の皆様に伝わり、新制服の導入が新たなまちの歴史づくりと人々の成長によい影響を与えることを、心より期待している。

一宮市「みんなの制服プロジェクト」委員会
委員長　内藤　章江　（お茶の水女子大学）

謝辞

本取組に関わってくださった皆様の「想い」は一宮市中学校の制服を変えるだけでなく、児童・生徒・教員・保護者・一宮市民のコミュニケーションに刺激と変化を与え、学校の様子や校則の再検討に影響を与え、市外・県外における種々の学校に大きな刺激と影響を与えました。本取組に真摯に向き合い、共に考え進めてくださった委員の皆様、事務局の皆様、サポートメーカー（名古屋菅公学生服株式会社　常務取締役 原田季典氏、営業担当 菅 雄晶氏）の皆様、このような機会を与えてくださった一宮市長、一宮教育委員会教育長、一宮教育委員会の皆様、学校教育課の皆様には心からの感謝を申し上げます。そしてご意見下さり、新制服導入について真剣にご協議くださった児童・生徒・先生方・保護者の皆様、この取組を温かく見守り、応援くださった一宮市民の皆様にも心からの感謝を申し上げます。なお、本報告書をまとめるにあたり、一宮市教育委員会教育部学校教育課 竹元 巨 専任課長、岩田 祥典 指導主事には多大なるご協力を賜りました。この場をお借りして深謝申し上げます。

参考文献

1）令和元年 8 月 26 日　定例市長記者会見｜一宮市 (city.ichinomiya.aichi.jp)
https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/mayor/1011108/1027885/1030824.html
（閲覧日：2023 年 3 月 31 日）

2）一宮市総合教育会議｜一宮市 (city.ichinomiya.aichi.jp)
https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/shisei/shingikai/1010348/1000261/1004172.html
（閲覧日：2023 年 3 月 31 日）

3）菅公学生服株式会社：中学・高校生の制服・体操服に関する意識調査結果報告書（2015）
※こちらの報告書の閲覧や質問については、以下へお問い合わせください。
名古屋菅公学生服株式会社　担当：原田　季典（はらだ　としのり）
TEL:052-218-2305　　mail：toshinori.harada@kanko-gakuseifuku.co.jp

4）一宮市教育委員会　学校教育課：「令和の時代にふさわしい制服の考え」についてのアンケート調査結果【令和元年 11・12 月実施】（2019）
※一宮市教育委員会 学校教育課ブログ（http://www2.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2340009）
2020 年 8 月 26 日「みんなの制服プロジェクト」委員会　配布資料として掲載（閲覧日：2023 年 3 月 31 日）

5）　一宮市教育委員会 教育部 学校教育課：令和元年度　いちのみや夢人材育成事業報告書（2020）